

第2次春日部市総合振興計画

重点プロジェクト

《安心・安全・持続可能なまちプロジェクト》

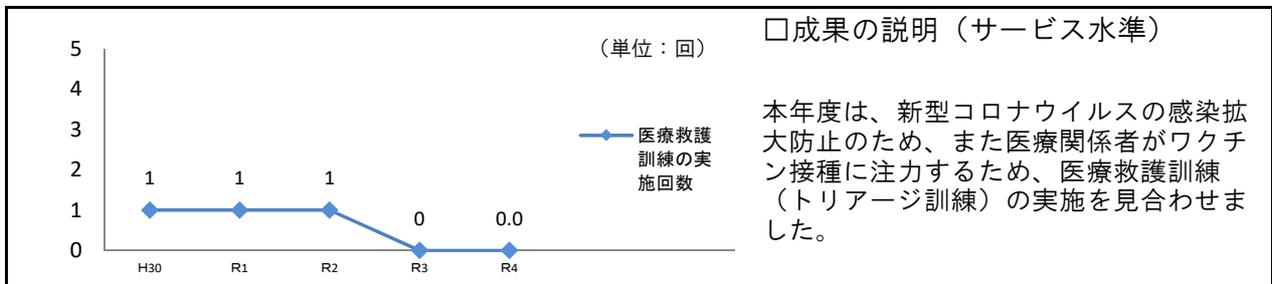
進捗管理シート

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

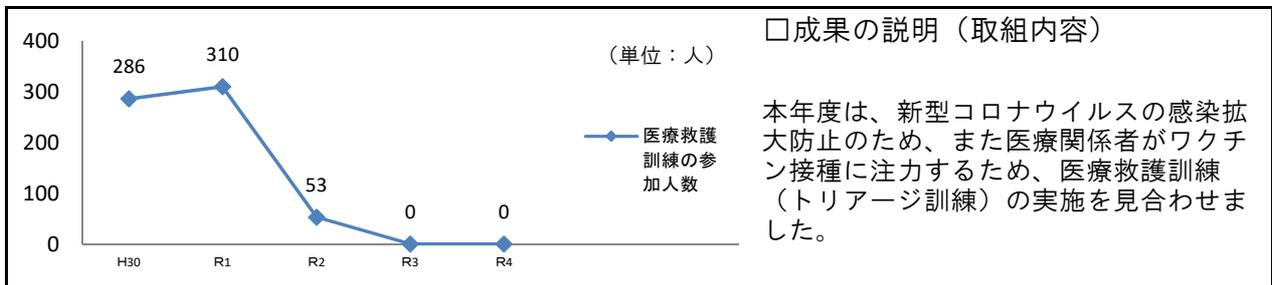
施策番号	2-4-4	実施計画No.	58	重点プロジェクトNo.	③-86	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	災害時医療対策事業					課名	健康課	
事業内容	大震災等の大規模災害発生時に医療関係団体等の協力により、迅速に医療救護所を設置しトリアージや初期治療を実施します。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	医療救護訓練の実施回数				現状値 (平成29年度)	1回		
現状と課題	災害時医療体制の確保のため、平成30年3月に策定した「春日部市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、医薬品をはじめとする医療資機材を備蓄するとともに発災時に備えた訓練を定期的に行っていましたが、新型コロナウイルスへの対応のため訓練実施を中断している状況であり、災害時に備えて医療関係機関との継続的な連携を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1回	1回	1回	1回	1回
成果指標の実績値	1回	1回	1回	0回	0回
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
決算額(千円)	5,651	2,005	2,189	2,943	2,644

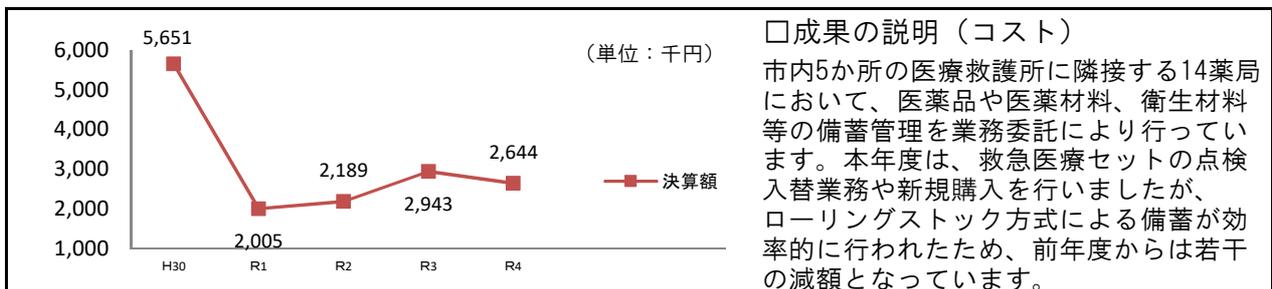
1 医療救護訓練の実施回数



2 医療救護訓練の参加人数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	「春日部市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、市内5か所に医療救護所を設置し、隣接する14薬局に医薬品や医薬材料、衛生材料等をローリングストック方式により備蓄しています。これにより発災時には、薬局より医療備蓄品を運ぶことにより、スムーズな医療救護活動を行うことができます。医療救護訓練については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、医療関係者がワクチン接種に注力していたことから、実施を見合わせました。	
今後の方向性	現状維持	発災時にはスムーズな医療救護活動が行えるよう、引き続き関係機関と連携を図り、新型コロナウイルスへの対応状況等を勘案しながら、医療救護訓練の再開や、適正な医薬品等の備蓄管理等を実施していきます。

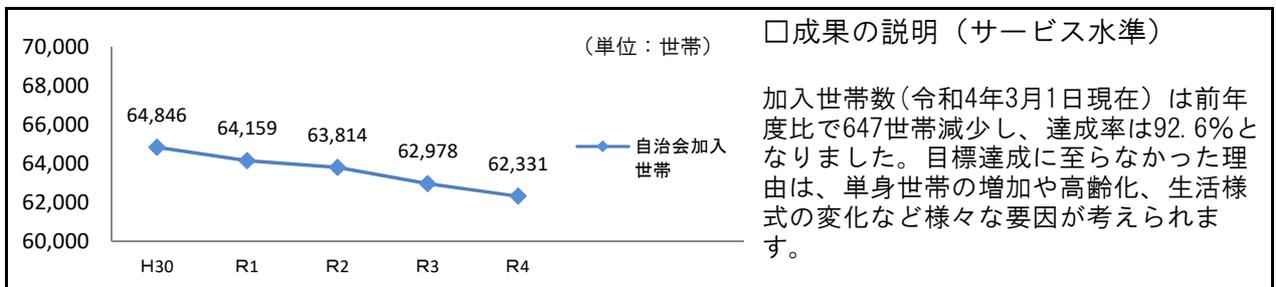
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

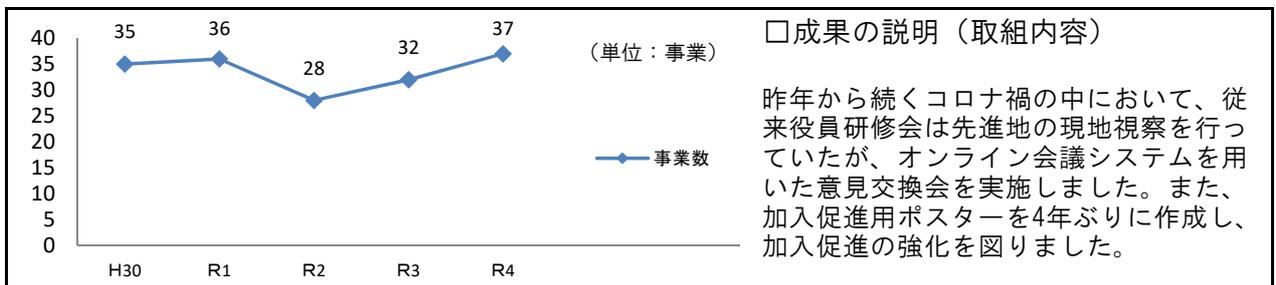
施策番号	3-1-2	実施計画No.	63	重点プロジェクトNo.	③-87	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	自治会加入促進活動					課名	市民参加推進課	
事業内容	自治会加入促進を図るため、自治会加入促進月間を定め、市と自治会連合会が共同で加入促進に努めます。リーフレットや自治会連合会報などあらゆる媒体を通じて自治会加入の目的などをPRするとともに、自治会に加入することにより得られる意義の創出に努めます。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自治会加入世帯数					現状値 (平成29年度)	65,196世帯	
現状と課題	自治会の加入世帯は横ばい傾向ですが、それ以上に未加入世帯が増えているため、加入率は低下傾向です。住みよい地域社会の構築と地域の活力向上のためにも、地域コミュニティの活性化が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65,900世帯	66,250世帯	66,600世帯	66,950世帯	67,300世帯
成果指標の実績値	64,846世帯	64,159世帯	63,814世帯	62,978世帯	62,331世帯
達成率	98.4%	96.8%	95.8%	94.1%	92.6%
決算額(千円)	52,075	53,633	51,395	50,836	50,416

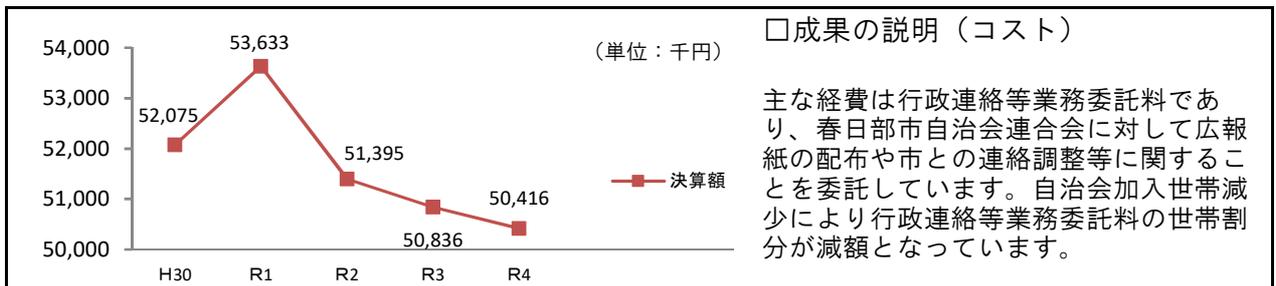
1 自治会加入世帯数



2 自治会連合会の活性化に向けた事業数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	加入世帯数（令和4年3月1日現在）は前年度比で647世帯減少し、達成率は92.6%となりました。目標達成に至らなかった理由は、単身世帯の増加や高齢化、生活様式の変化など様々な要因が考えられます。そのような中、役員研修会では、会費の口座引落としや電子決済の導入など先進的な取組を行っている他県の自治会とオンライン会議システムを用いた意見交換を行い、加入促進の強化に努めました。	
今後の方向性	現状維持	自治会活動は地域の魅力向上や、いざという時の支え合い助け合いに欠かせない活動です。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、自治会においても再開できる事業は再開し、地域経済も含めたコミュニティ全体の活性化を図っていきます。

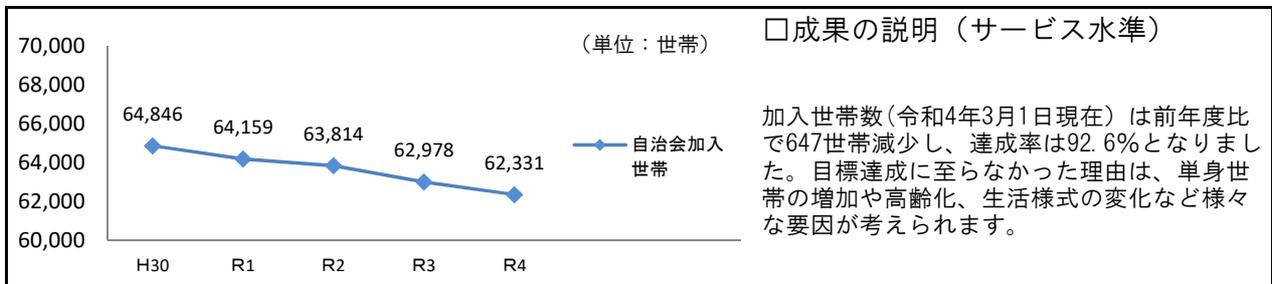
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

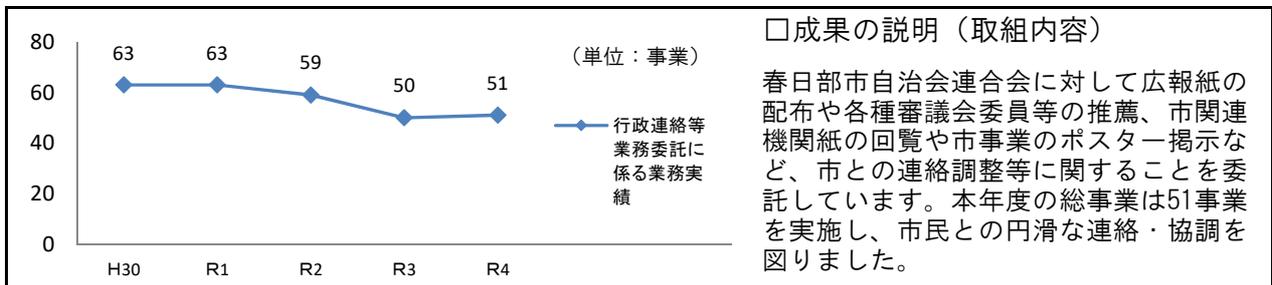
施策番号	3-1-2	実施計画No.	64	重点プロジェクトNo.	③-88	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	自治振興事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	市業務の委託により、市民への円滑な情報伝達（広報紙・議会だよりなど配布）と、市の政策形成への市民参加を推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自治会加入世帯数				現状値 (平成29年度)	65,196世帯		
現状と課題	核家族化や少子高齢化が進行する中、個人や家庭で対応しきれない問題を解決する場として、コミュニティの重要性が高まっています。自治会加入世帯数は、減少傾向にあるため、市内各地区の状況を把握し、より効果的な対策を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65,900世帯	66,250世帯	66,600世帯	66,950世帯	67,300世帯
成果指標の実績値	64,846世帯	64,159世帯	63,814世帯	62,978世帯	62,331世帯
達成率	98.4%	96.8%	95.8%	94.1%	92.6%
決算額(千円)	52,075	53,633	51,395	50,836	50,416

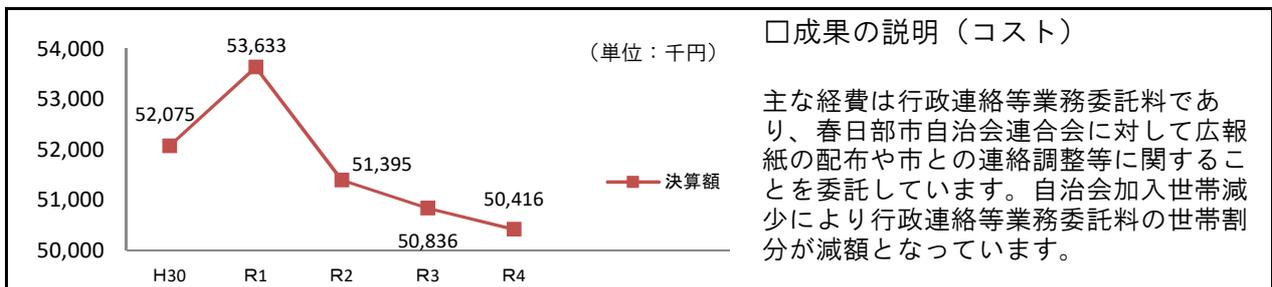
1 自治会加入世帯数



2 行政連絡等業務委託に係る業務実績



3 決算額の推移



令和4年度の評価	加入世帯数（令和4年3月1日現在）は前年度比で647世帯減少し、達成率は92.6%となりました。目標達成に至らなかった理由は、単身世帯の増加や高齢化、生活様式の変化など様々な要因が考えられます。そのような中、役員研修会では、会費の口座引落しや電子決済の導入など先進的な取組を行っている他県の自治会とオンライン会議システムを用いた意見交換を行い、加入促進の強化に努めました。	
今後の方向性	現状維持	自治会活動は地域の魅力向上や、いざという時の支え合い助け合いに欠かせない活動です。今後の新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、感染防止対策を徹底の上、自治会において再開できる事業は再開し、地域経済も含めたコミュニティ全体の活性化を図っていきます。

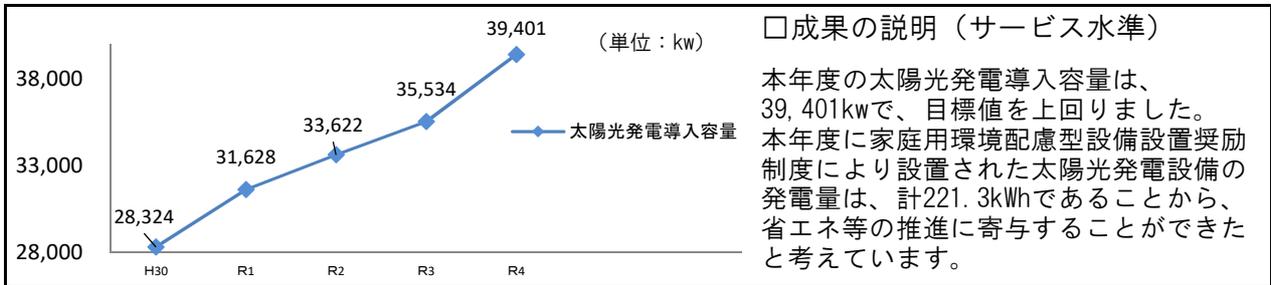
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

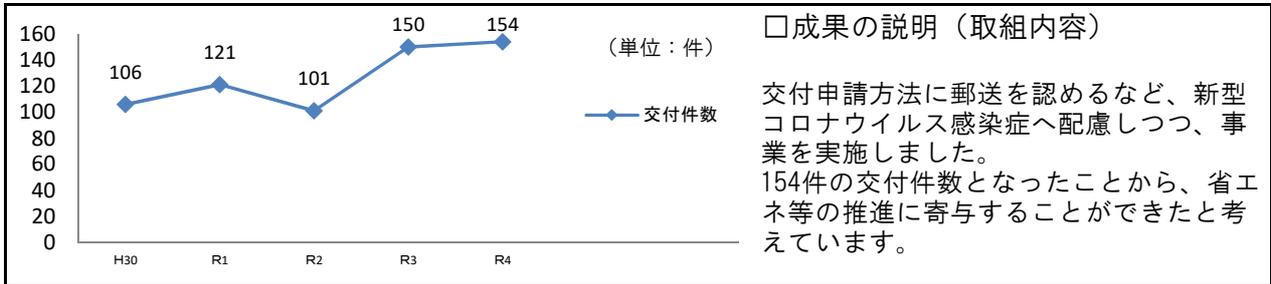
施策番号	4-1-1	実施計画No.	91	重点プロジェクトNo.	③-89	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	再生可能エネルギー推進事業					課名	環境政策課	
事業内容	家庭部門での創エネ、省エネ、蓄エネを推進するため、家庭用環境配慮型設備を設置する市民に対し市内共通商品券の交付を行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市域全体の太陽光発電導入容量				現状値 (平成29年度)	26,072kW		
現状と課題	家庭部門における二酸化炭素排出量は減少傾向にあるものの、2050年の脱炭素構築のためには、太陽光発電設備を始めとする再生可能エネルギー活用、高効率な設備の導入による省エネ等を推進することが急務です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	27,400 kW	28,800 kW	30,200 kW	31,600 kW	33,000 kW
成果指標の実績値	28,324 kW	31,628 kW	33,622 kW	35,534 kW	39,401 kW
達成率	103.4%	109.8%	111.3%	112.4%	119.4%
決算額(千円)	7,526	7,953	5,858	7,700	7,594

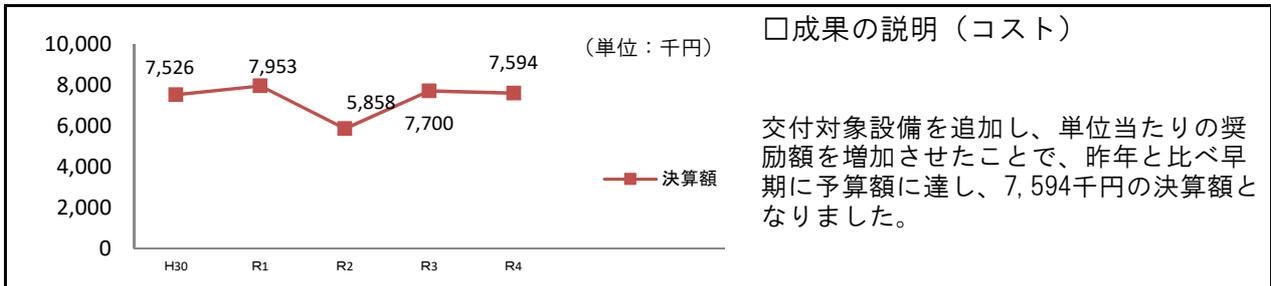
1 市域全体の太陽光発電導入容量



2 奨励事業による交付件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞がありましたが、当初の想定を超える交付申請があり、受付期間終了前に申請受付を締め切ることとなりました。2050年の脱炭素社会に向け、国・県・本市において太陽光発電設備の設置を支援・推奨等していることもあり、市域全体の太陽光発電導入容量は目標値を上回る結果となりました。	
今後の方向性	現状維持	地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの普及拡大を図ることは、喫緊の課題であるため、今後も推進に努めます。

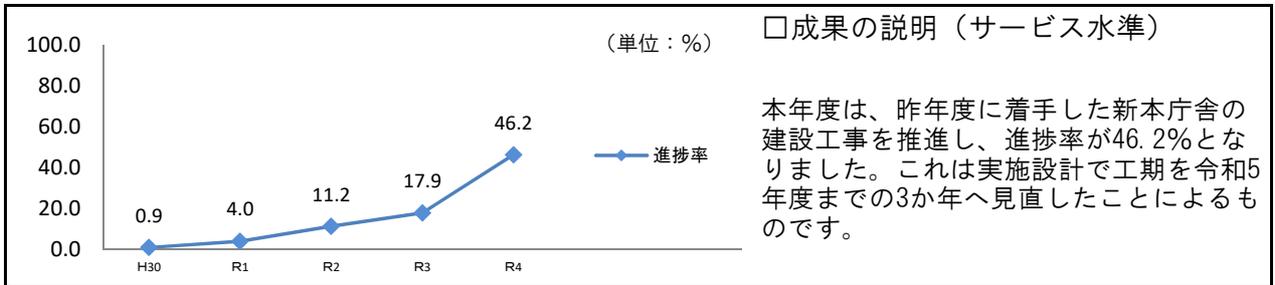
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

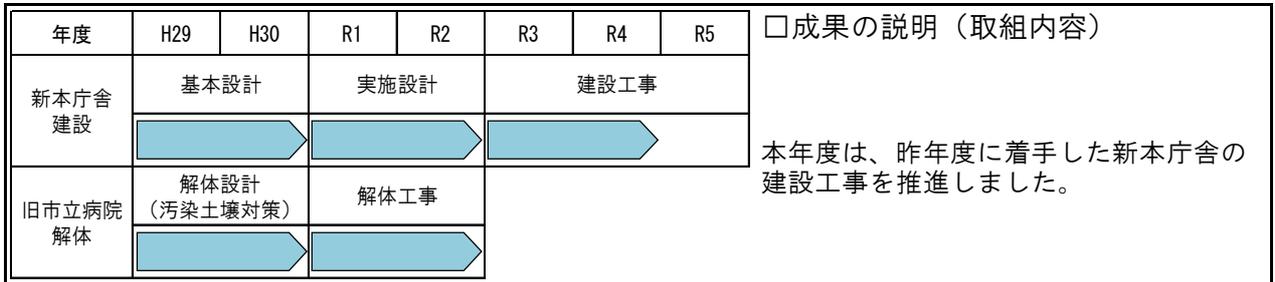
施策番号	4-2-1	実施計画No.	97	重点プロジェクトNo.	③-90	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	本庁舎整備事業					課名	公共施設事業調整課	
事業内容	「春日部市本庁舎整備基本計画」に基づき、市役所本庁舎の移転建替えを推進します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	新本庁舎整備の進捗率				現状値 (平成29年度)	0.4%		
現状と課題	現本庁舎は昭和45年に建てられた旧耐震基準の建物です。市役所本庁舎は災害時には市民の生命を守る拠点となり、高い耐震性と併せて災害時の業務継続が求められることから、早急に耐震化をはかる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.9%	5.1%	11.2%	55.6%	100.0%
成果指標の実績値	0.9%	4.0%	11.2%	17.9%	46.2%
達成率	100.0%	78.4%	100.0%	32.2%	46.2%
決算額(千円)	78,883	408,088	948,899	910,076	3,612,447

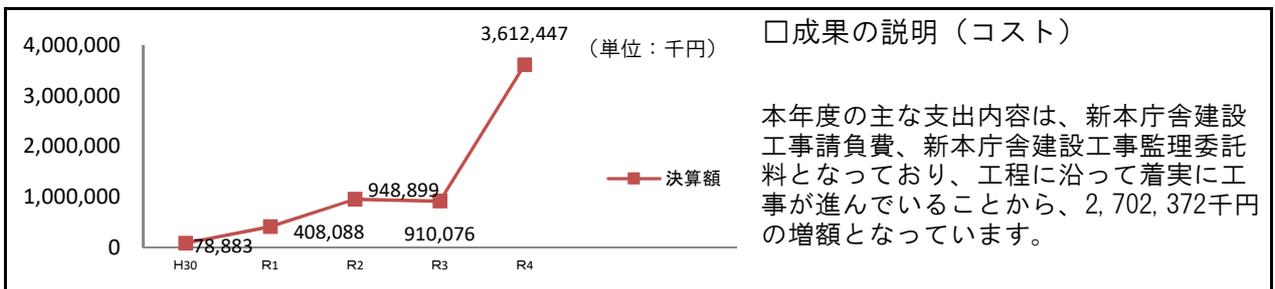
1 新本庁舎整備の進捗率



2 新本庁舎整備の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、昨年度に着手した新本庁舎の建設工事を推進し、本庁舎（新築棟）は躯体工事、免震工事、内・外装工事を、第二庁舎（既存棟）は内部解体工事、躯体補修工事、内・外装工事を実施しました。併せて、執務室レイアウトや施設名称、サイン計画を確定し、来年度工事に向けた準備を進めました。なお、達成率は46.2%となっていますが、これは実施設計で工期を令和5年度までの3か年へ見直したことによるものであり、本年度も計画どおり工事を進めることができました。	
今後の方向性	現状維持	令和5年度の竣工に向けて、引き続き新本庁舎の建設工事を進めていきます。

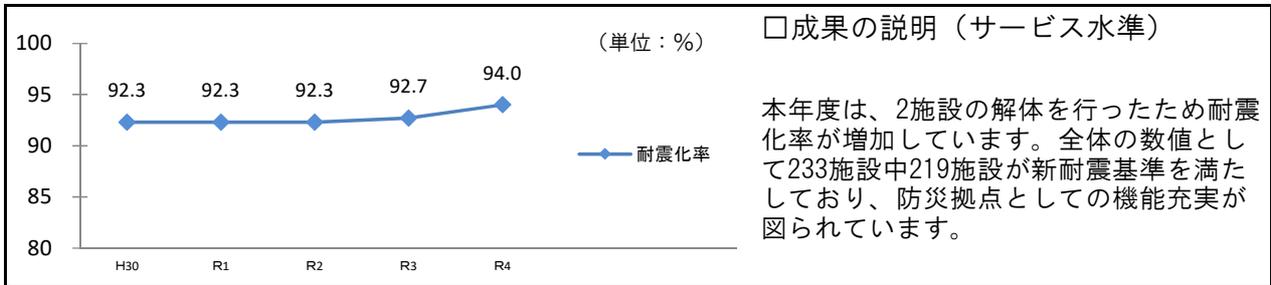
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

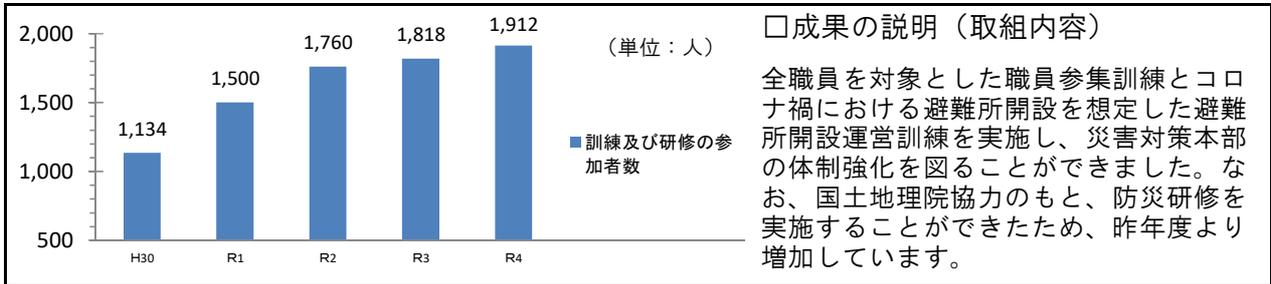
施策番号	4-2-1	実施計画No.	98	重点プロジェクトNo.	③-91	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	災害対策本部強化事業					課名	防災対策課	
事業内容	災害対策本部の機能向上のため、資機材の整備・職員訓練の実施・対応マニュアルの充実を進めるとともに、災害協定の強化を図ります。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	防災拠点となる公共施設の耐震化率					現状値 (平成29年度)	92.3%	
現状と課題	災害対策本部の迅速かつ機動的な災害対応能力の強化を図るため、災害に関する各種マニュアルの整備や訓練が重要となっています。また、災害時の物資や人員等の確保については、民間事業者等との協定により、応急活動及び復旧活動の体制を継続して充実させていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%	100.0%
成果指標の実績値	92.3%	92.3%	92.3%	92.7%	94.0%
達成率	99.9%	99.7%	99.5%	99.7%	94.0%
決算額(千円)	5,602	411	5,289	1,337	1,526

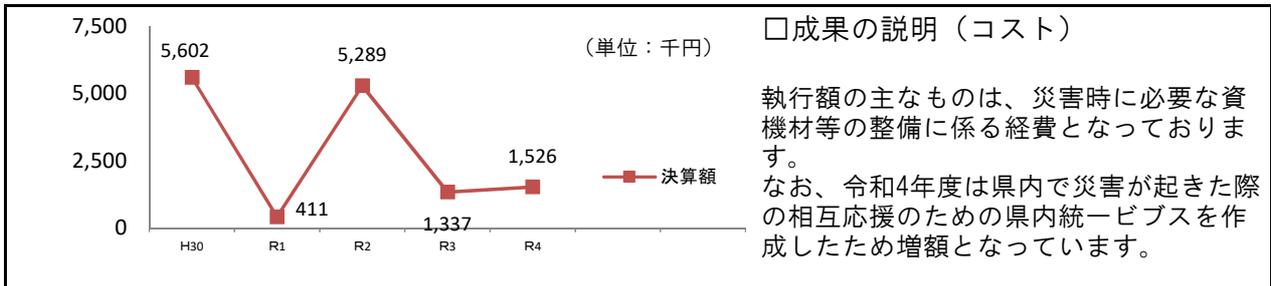
1 防災拠点となる公共施設の耐震化率



2 災害時を想定した職員対象の訓練及び研修の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	地域における自助・共助の取組を進めるため、自主防災組織と連携したコロナ禍における避難所開設訓練を実施しました。また、避難所施設管理者及び避難所担当者と現地打合せを行い、鍵や物資の保管場所の確認、施設レイアウトの打ち合わせを行いました。災害時応援協定については、新たに6者と締結し、うち3者は地域の自主防災組織と避難所運営に関する協定を締結することができ、更なる協力体制の充実が図られました。	
今後の方向性	現状維持	職員向け研修や各種マニュアルの充実、分散備蓄物資の適切な管理、更新等、災害対策本部の体制の更なる体制強化を図ります。また、災害時応援協定の実効性を高めるため、担当者連絡先の定期的な確認や、協定締結先との災害時を想定した実働体制の確認も実施していきます。

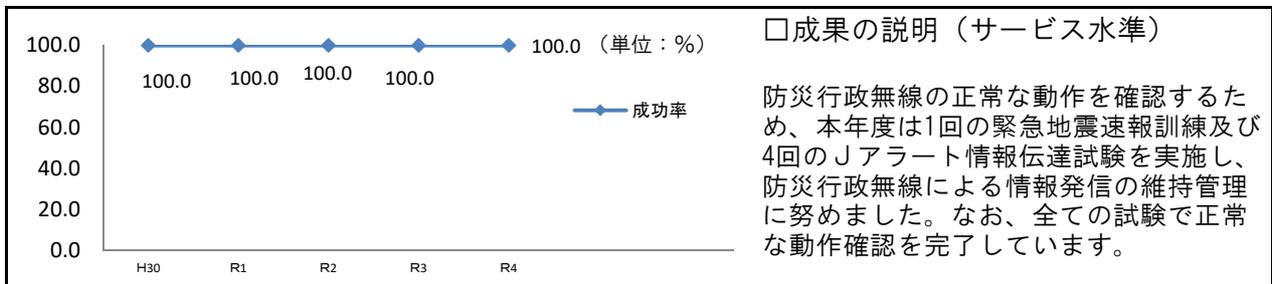
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

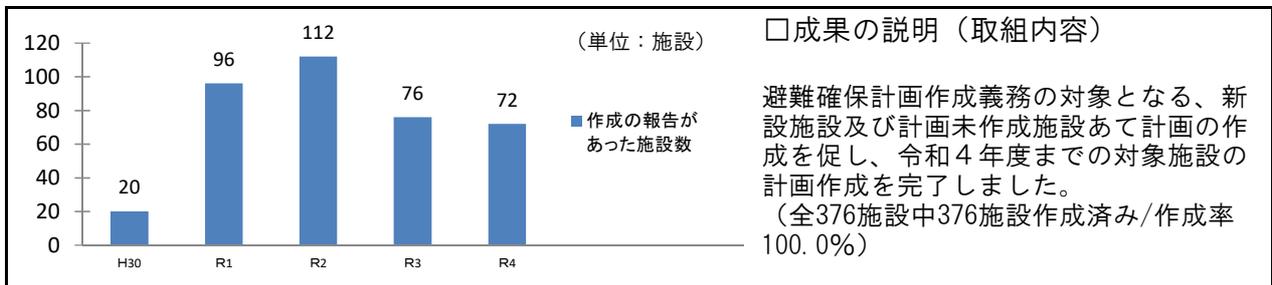
施策番号	4-2-1	実施計画No.	99	重点プロジェクトNo.	③-92	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防災事務					課名	防災対策課	
事業内容	市防災会議、国民保護協議会の開催や、防災機器等の整備・管理により、防災対策を実施します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	緊急地震速報訓練及びJアラート情報伝達試験の成功率				現状値 (平成29年度)	100%		
現状と課題	災害時には、迅速かつ正確な防災情報の収集及び伝達が重要であるため、防災行政無線から常時確実に情報発信を実施するための維持管理が必要です。 また、事業所を利用する要配慮者が円滑に避難できるよう、要配慮者利用施設における避難確保計画作成を促進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	15,916	17,096	18,610	24,192	31,082

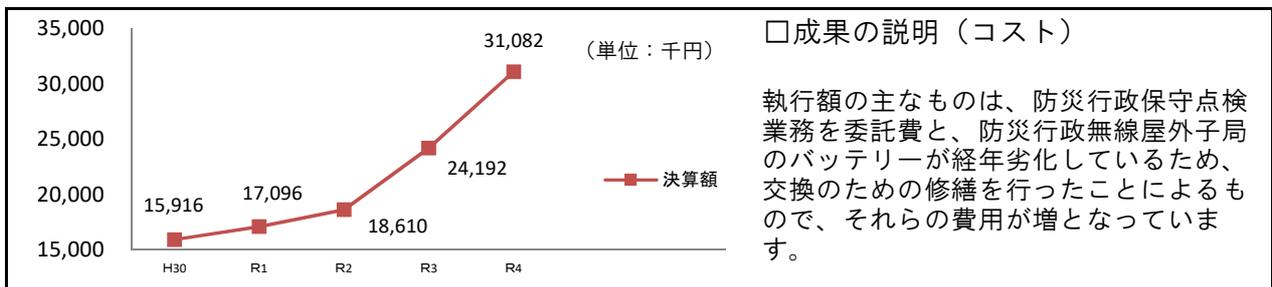
1 緊急地震速報訓練及びJアラート情報伝達試験の成功率



2 避難確保計画作成の報告があった要配慮者利用施設数



3 決算額の推移



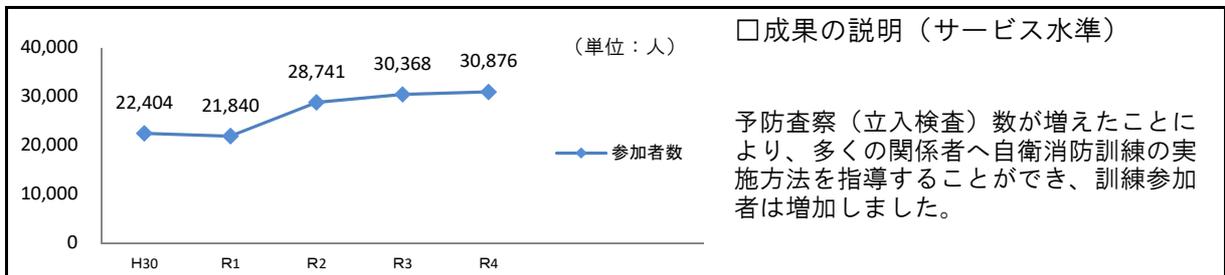
令和4年度の評価	防災行政無線については、定期的に放送訓練や保守点検を実施しており、不具合等にも迅速に対応し、より確実な情報伝達や適正な運用を行うことができました。また、避難確保計画未作成の全ての施設に、計画作成の依頼について通知、電話による作成支援をしたことで、対象となっていた施設全ての計画作成が完了し、避難対策を充実させることができました。	
今後の方向性	現状維持	いつ来るかわからない災害に備えて、正確かつ確実な情報伝達や情報収集・連絡体制を確保するため、防災行政無線などのツールについて、適正な管理により良好な状態を保持するとともに、令和5年度以降に新たに避難確保計画作成が必要となる施設に対しても作成を促すなど、避難対策の充実を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

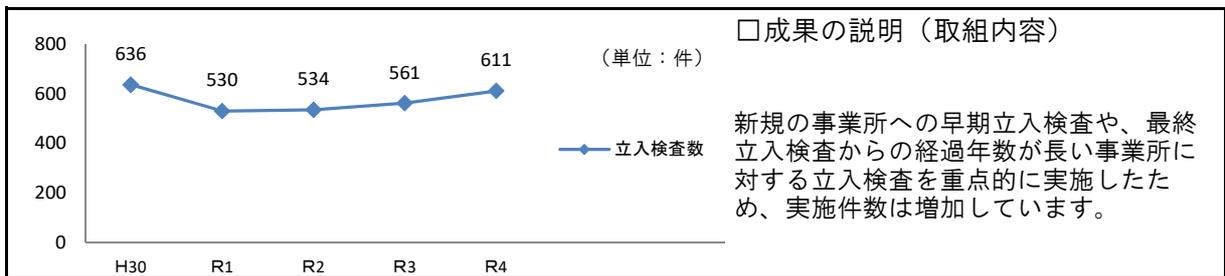
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	4-2-2	実施計画No.	100	重点プロジェクトNo.	③-93	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	予防活動事業					課名	予防課	
事業内容	事業所などに対する予防査察を実施し、必要な防火指導を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自衛消防訓練参加者数				現状値 (平成29年度)	28,325人		
現状と課題	市民が安心して安全に暮らすには、火災予防の充実が不可欠です。そのためには事業所や危険物施設に対する予防査察（立入検査）を定期的の実施し、積極的な防火対策の促進が必要です。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	29,200人	29,900人	30,600人	31,300人	32,000人			
成果指標の実績値	22,404人	21,840人	28,741人	30,368人	30,876人			
達成率	76.7%	73.0%	93.9%	97.0%	96.5%			
決算額(千円)	303	365	403	420	499			

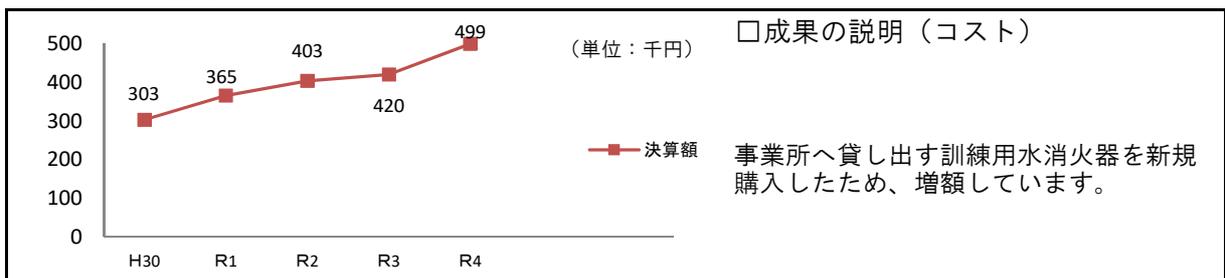
1 自衛消防訓練参加者数の推移



2 予防査察（立入検査）数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染拡大が収まった時期に、予防査察（立入検査）を積極的に実施することで、多くの事業所の理解を得ることができ、前年度より実施件数を増やすことができました。重大違反のある事業所についても、指導を継続することで是正させることができ、市民が安心して安全に暮らせるための効果はあったものと考えます。	
今後の 方向性	現状維持	最終立入検査からの経過年数が長い事業所を減らしていき、各事業所へ定期的な指導を行うことで、防火対策を促進していきます。法令違反防火対象物に対しては、是正に向けた指導として定期的な連絡や現地確認などを行い是正強化に取り組んでまいります。

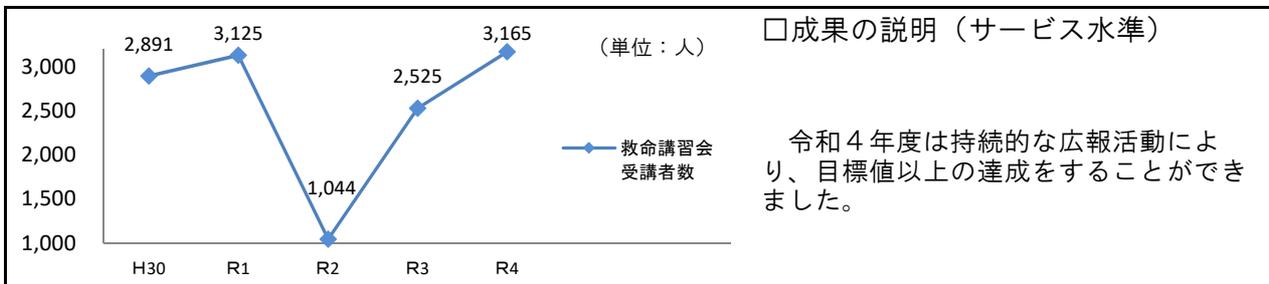
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

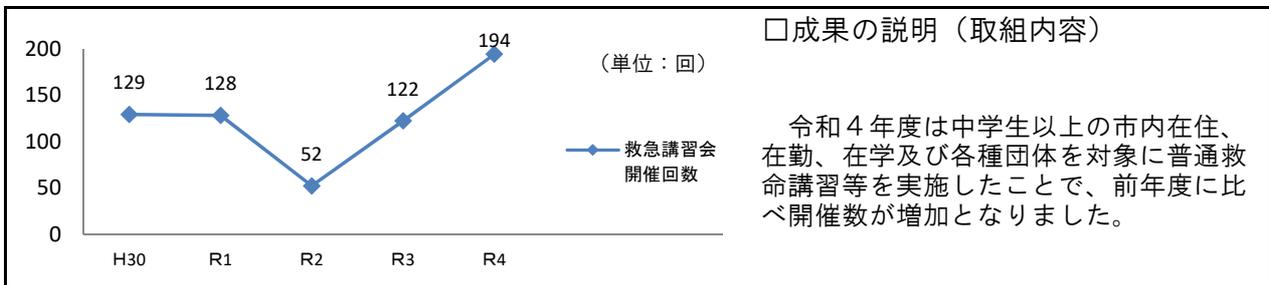
施策番号	4-2-2	実施計画No.	101	重点プロジェクトNo.	③-94	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	救急活動事業					課名	警防課	
事業内容	各種救命講習会を開催し、救命処置に必要な知識と技術の理解を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	救命講習会受講者数				現状値 (平成29年度)	2,665人		
現状と課題	令和3年度まで新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言中は開催を自粛していましたが、令和4年度は持続的な広報活動、WEB講習を活用し時間を短縮するなどの工夫をして実施した結果、受講者数、講習会開催回数とも目標値を達成できました。今後も感染予防に留意しながら事業を継続することが課題と考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,965人	3,000人	3,035人	3,070人	3,100人
成果指標の実績値	2,891人	3,125人	1,044人	2,525人	3,165人
達成率	97.5%	104.2%	34.4%	82.2%	102.1%
決算額(千円)	742	798	481	517	684

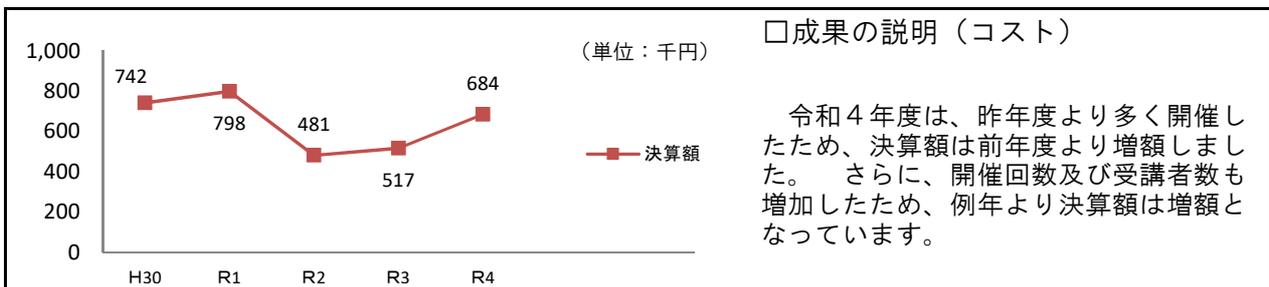
1 救命講習会受講者数



2 救急講習会開催回数の推移



3 決算額の推移



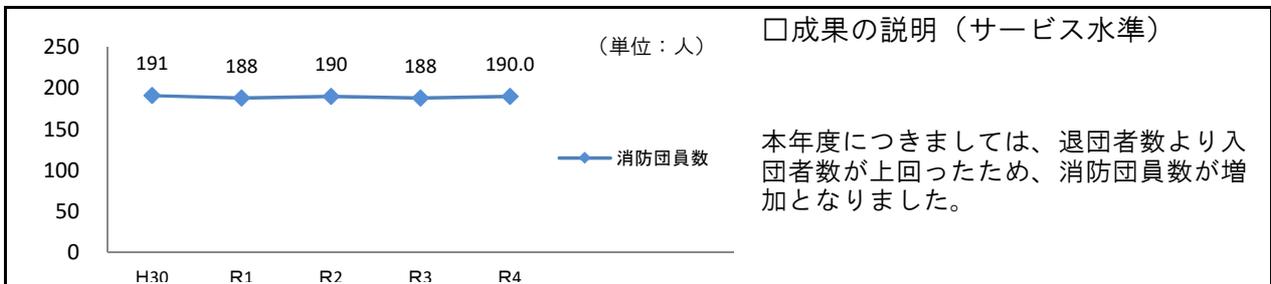
令和4年度の評価	令和4年度は、感染症拡大防止のためWEB講習等を積極的に活用し、受講者の接触機会を減らしながら安心して受講できるように努めました。年間を通して広報活動を積極的に行い、多くの方に受講していただき応急手当の普及に努めました。	
今後の方向性	現状維持	今後もWEB講習等を活用して救命講習会を開催し、応急処置ができる市民を増やしていくことを目指します。また、継続的に広報活動を実施し、受講者増加や救急車の適正利用といった応急処置に対する市民理解へと繋げていきます。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

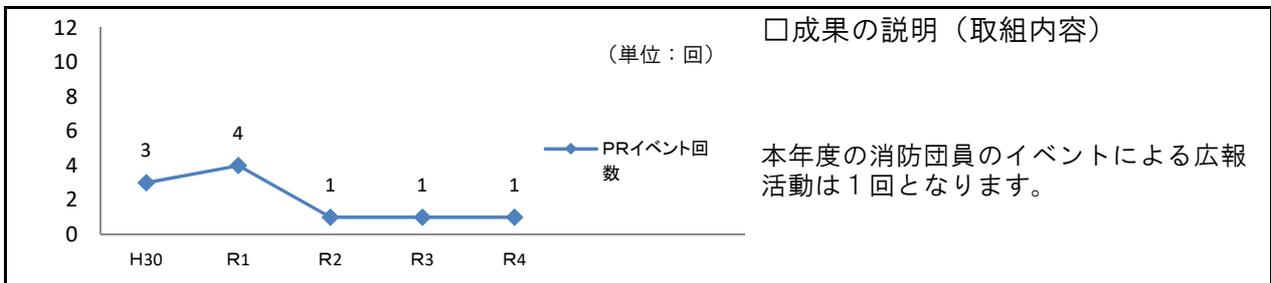
施策番号	4-2-2	実施計画No.	102	重点プロジェクトNo.	③-95	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	消防団活動事業					課名	消防本部総務課	
事業内容	地域に密着した消防団活動強化のため、消防団員を安定的に確保し、消防活動上の安全管理に必要な装備、被服等を整備します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	消防団員数				現状値 (平成29年度)	199人		
現状と課題	地域の実情をきめ細かく把握している消防団は、地域防災の要となっていますが、全国的に減少傾向にあります。消防団員を確保するため、市民や事業所と連携を図りながら、地域防災体制の充実強化などを一層推進することが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	199人	200人	200人	201人	201人
成果指標の実績値	191人	188人	190人	188人	190人
達成率	96.0%	94.0%	95.0%	93.5%	94.5%
決算額(千円)	1,745	2,031	3,796	3,862	4,061

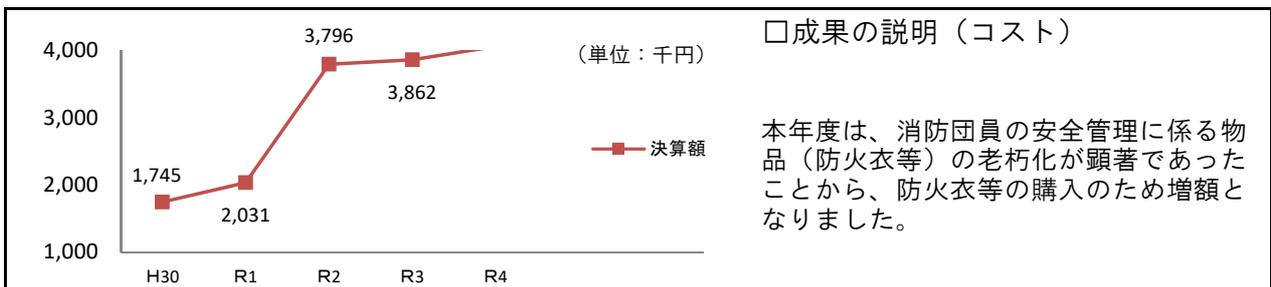
1 消防団員数の推移



2 広報活動の実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、消防団員数が増加となりました。今後につきましても、消防団員の安定した確保に向けて、効果的な消防団員募集の広報活動の実施が必要となります。	
今後の方向性	現状維持	地域の密着した消防活動を実施するため、広報活動をはじめとした消防団に関する普及啓発を行い、消防団員を安定的に確保し、地域防災体制の充実を推進いたします。

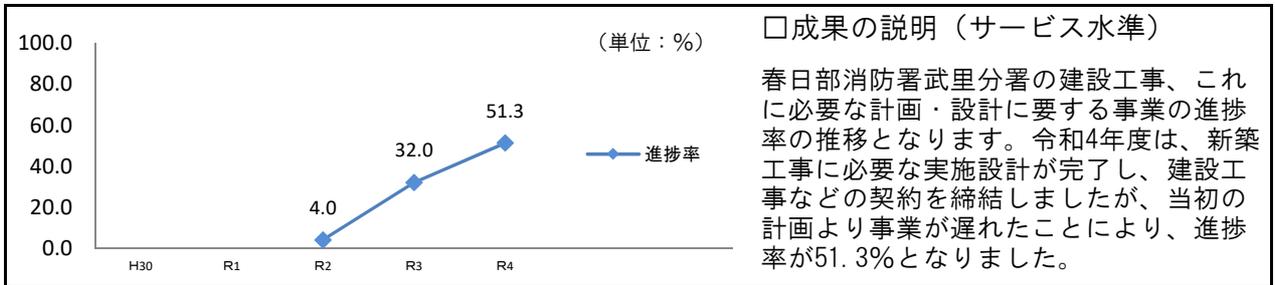
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

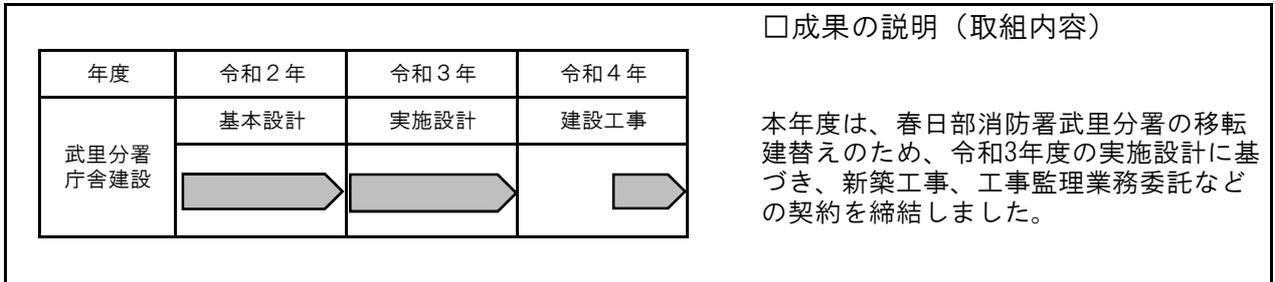
施策番号	4-2-2	実施計画No.	103	重点プロジェクトNo.	③-96	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	消防施設耐震対策事業					課名	消防本部総務課	
事業内容	消防施設が防災拠点としての機能を発揮できるよう、庁舎の耐震対策を推進します。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部消防署武里分署新庁舎の進捗率				現状値 (令和元年度)	-		
現状と課題	目標耐震性能を下回っている施設への対応が必要であり、武里分署については早期の移転建替えに向け新築工事を計画しているが、世界的な原油高騰等の影響により建設資材の取引価格が急激に変動している。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	4.0%	32.0%	66.0%
成果指標の実績値	-	-	4.0%	32.0%	51.3%
達成率	-	-	100.0%	100.0%	77.7%
決算額(千円)	-	-	7,508	112,146	41,181

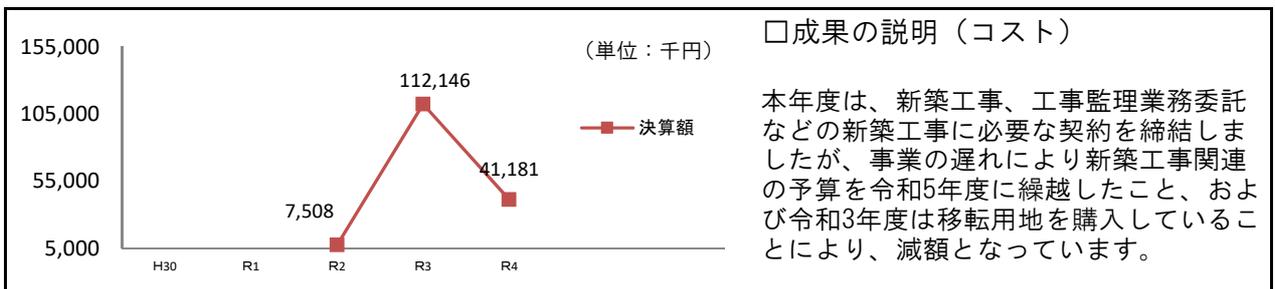
1 春日部消防署武里分署新庁舎の進捗率



2 春日部消防署武里分署新庁舎の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、移転建替えに必要な新築工事、工事監理業務委託などの契約を締結しましたが、世界的な原油高騰等の影響により建設資材の取引価格が急激に変動している影響を受け、当初の計画より事業が遅れが生じてしまいました。しかしながら、武里地区の住民を対象に事業計画の変更および、新築工事の説明会を行ったことにより、移転建替えの実現に近づいたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	春日部消防署武里分署については、令和6年度の新庁舎完成を目指し建設工事を進めていきます。また、目標耐震性能を下回っている他施設の耐震対策を取り組んでいきます。

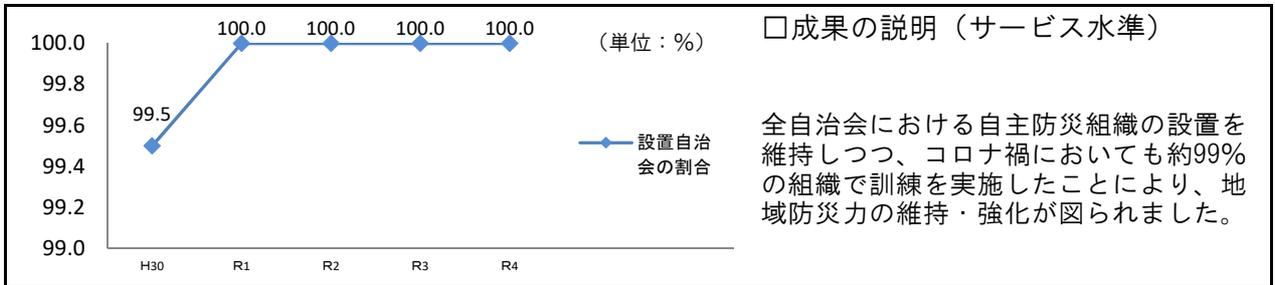
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

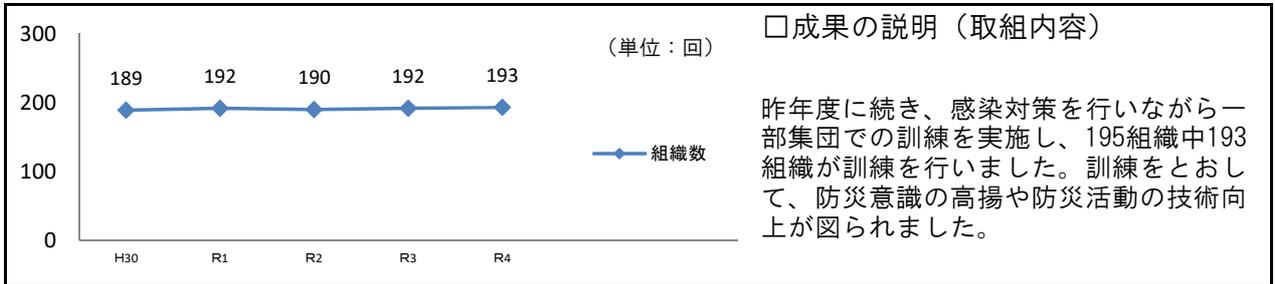
施策番号	4-2-3	実施計画No.	104	重点プロジェクトNo.	③-97	-	補助金No.	1
事業名 (補助金名)	自主防災組織育成事業助成補助金					課名	防災対策課	
事業内容	地域における防災活動に必要な自主防災組織の防災資機材等の整備について、助成します。また、未組織の自治会においては、組織化を促進します。					事業開始年度	昭和54年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自主防災組織を設置している自治会の割合					現状値 (平成29年度)	98.5%	
現状と課題	過去の災害対応の教訓から、地域での助け合いが被害を最小限にすることが明らかとなり、自助・共助の取り組みが重要であることが再認識されています。その地域の防災力を高めるため、市民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成や地域が連携した防災活動を推進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	99.0%	99.5%	99.5%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.5%	100.5%	100.5%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	14,289	13,254	11,946	12,805	13,010

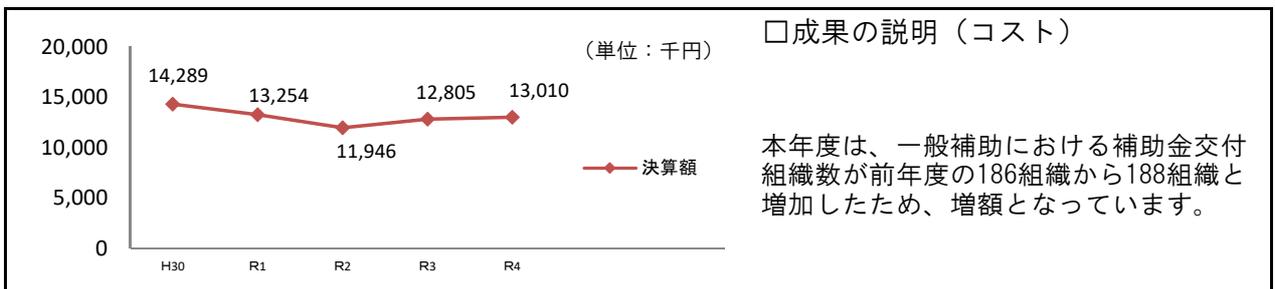
1 自主防災組織を設置している自治会の割合



2 訓練を実施した自主防災組織数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	機会を捉えて、組織化のメリットや地域が連携した自主防災活動による自助・共助の必要性について、継続して啓発を行ったことにより、すべての自治会において自主防災組織が維持されました。 また、コロナ禍において昨年、一昨年と実施することが難しかった集団訓練について、感染対策を行いながら多数の組織で実施することができ、組織の防災力の充実・強化を図りました。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民の防災意識の高揚と防災活動の技術向上を目的に、地域で行う自主防災訓練への支援や自助・共助の取り組みを啓発するリーフレットの充実など、自主防災組織に対する様々な支援を継続して行っていきます。また、補助交付を継続し、地域における災害に備えた取り組みの充実・強化を図っていきます。

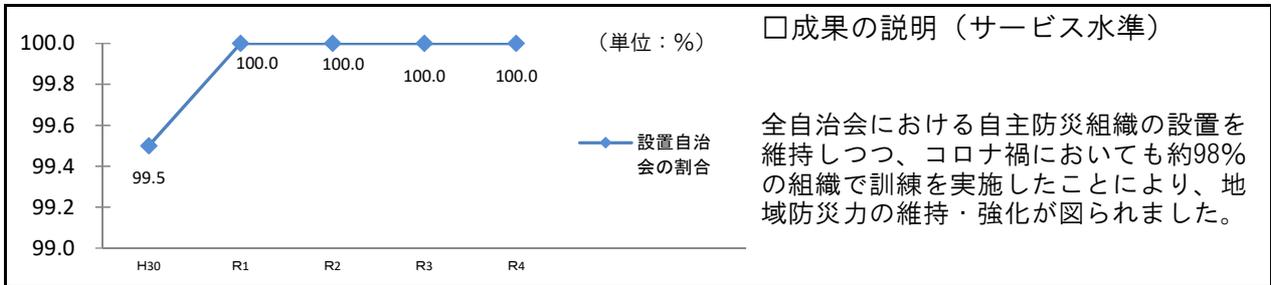
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

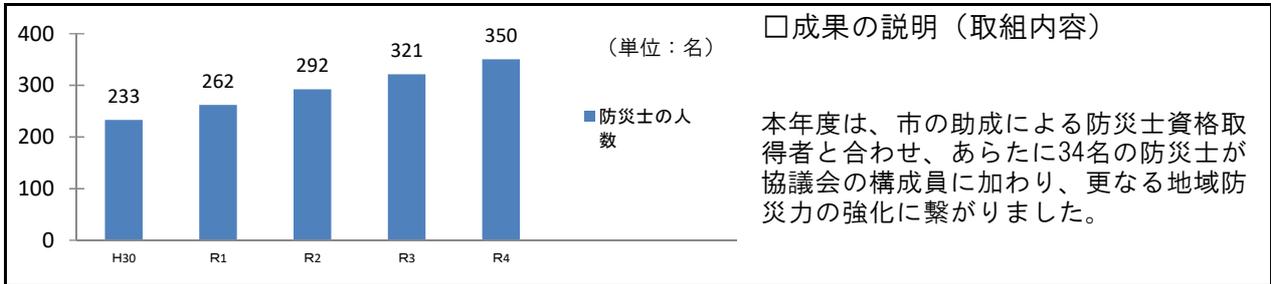
施策番号	4-2-3	実施計画No.	105	重点プロジェクトNo.	③-98	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防災体制強化事業					課名	防災対策課	
事業内容	防災活動を行う上で、リーダーとして役割を担う防災士を養成する研修講座の開催や、防災知識・技術の向上を図るための図上訓練の実施など、自助・共助の取組を強化する事業を行います。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自主防災組織を設置している自治会の割合					現状値 (平成29年度)	98.5%	
現状と課題	過去の災害対応の教訓から、地域での助け合いが被害を最小限にすることが明らかとなり、自助・共助の取り組みが重要であることが再認識されています。そのため、より多くの自主防災組織において防災士がリーダーとして活躍し、地域防災活動の拡大と防災力の向上を推進していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	99.0%	99.5%	99.5%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.5%	100.5%	100.5%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	1,827	1,857	2,162	2,167	2,110

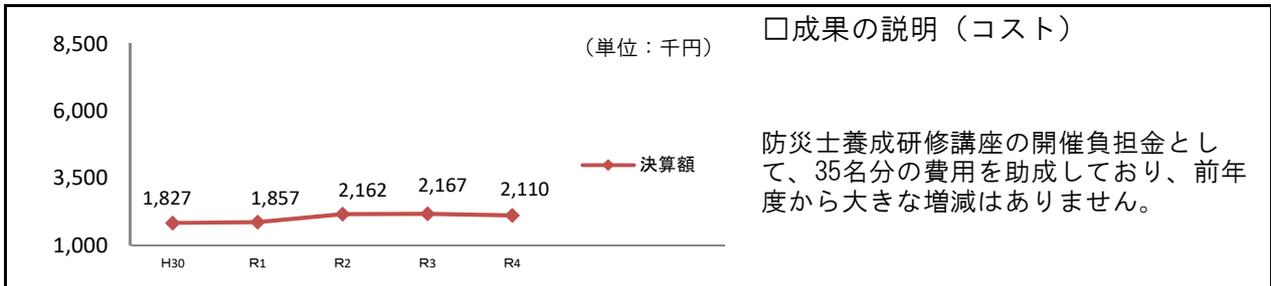
1 自主防災組織を設置している自治会の割合



2 自主防災組織連絡協議会の構成員として活動する防災士の人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	防災士養成講座を開催し、自主防災組織で活動する新たな防災士が増加したことにより、地域の防災力強化が図られました。 また、近年重要視されている女性の視点を取り入れた避難所運営や防災意識の普及を実現するため、募集時に積極的な女性受講者の申込みを呼びかけたことから、今年度は11名の女性防災士を養成することができました。	
今後の 方向性	現状維持	防災士は地域などでの防災意識の普及や啓発活動、自主防災訓練の企画・立案といった、防災活動における指導的な役割を担っており、今後も防災士資格取得の助成を継続し、防災士の養成を推進することで、地域の防災力向上に取り組んでいきます。 また、次年度は自主防災組織連絡協議会と連携を図りながら、コロナ禍においても資格取得後のレベルアップの機会が確保されるよう検討していきます。

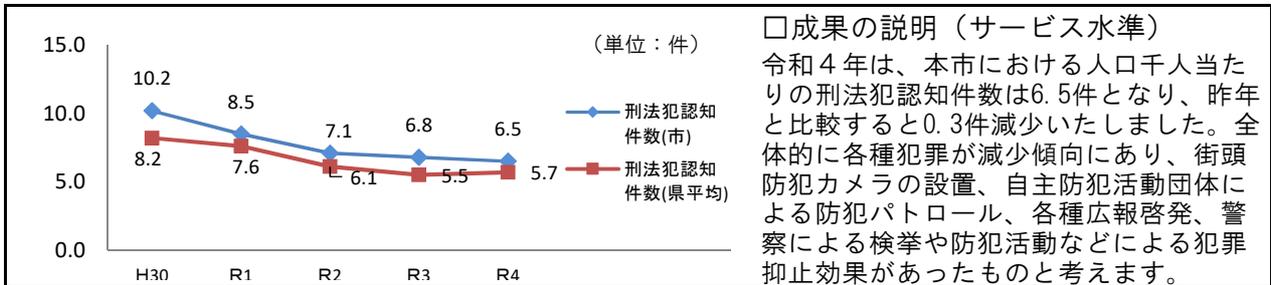
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

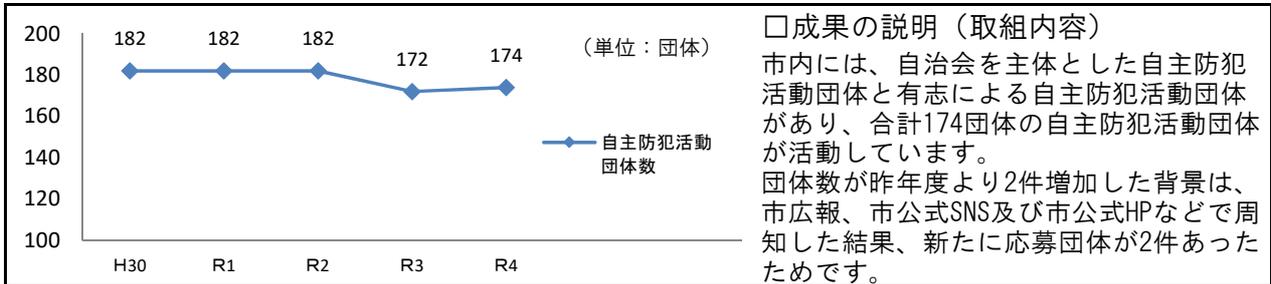
施策番号	4-3-1	実施計画No.	106	重点プロジェクトNo.	③-99	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防犯・暴力対策事業					課名	くらしの安全課	
事業内容	犯罪情報・防犯情報の提供、自主防犯活動団体への支援、防犯講話、防犯・暴力排除意識の啓発活動、街頭防犯カメラの適正な維持・管理とともに、真に必要な箇所への設置などを実施します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	人口千人当たりの刑法犯認知件数				現状値 (平成29年)	9.7件		
現状と課題	本市における人口千人当たりの刑法犯認知件数（犯罪率）は、令和4年が6.5件で、前年より0.3件減少していますが、自転車盗や特殊詐欺被害など一部の犯罪が増加傾向にあり、加えて、県東部地域においては、県内全体と比較すると未だ高い水準にあることから、各種施策の推進により市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪の発生件数の減少を目指します。							

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	9.6件	9.5件	9.4件	9.4件	9.3件
成果指標の実績値	10.2件	8.5件	7.1件	6.8件	6.5件
達成率	94.1%	111.8%	132.4%	138.2%	143.1%
決算額(千円)	12,404	12,982	27,925	23,695	21,823

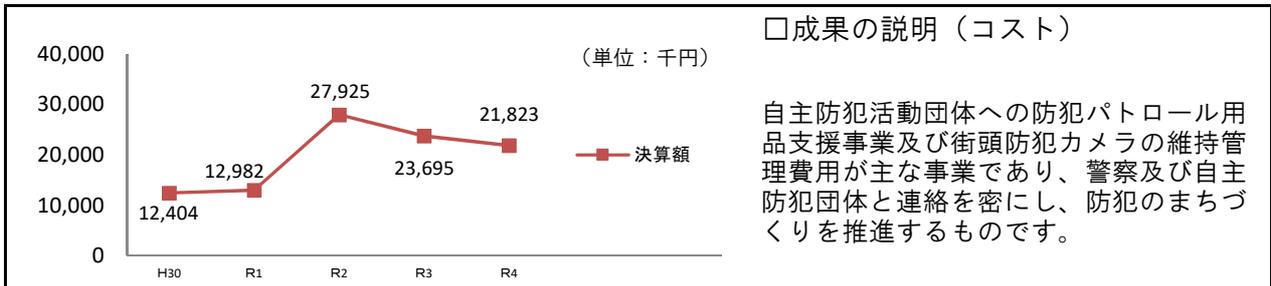
1 人口千人当たりの刑法犯認知件数



2 自主防犯活動団体数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、春日部警察をはじめとする関係機関・団体と連携した犯罪・防犯情報の発信や防犯意識の啓発、自主防犯活動団体へのパトロールグッズの支援などを実施しました。	
今後の方向性	現状維持	令和5年度も、引き続き、関係機関・団体及び自主防犯活動団体の皆様と連携し、地域防犯活動を推進していきます。

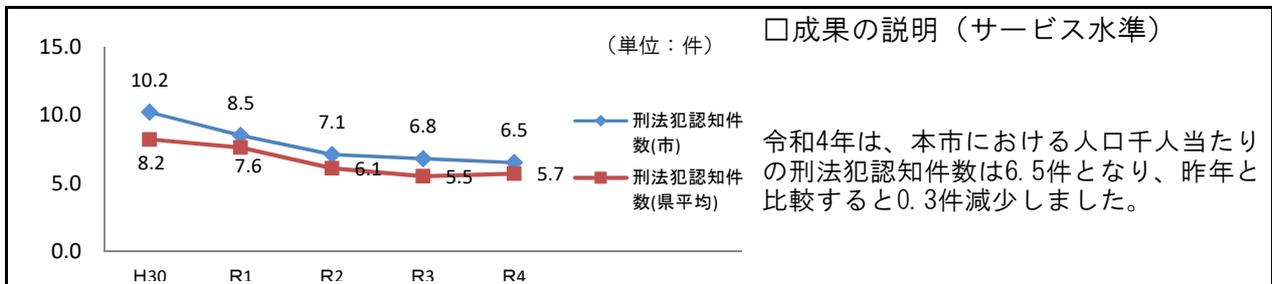
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

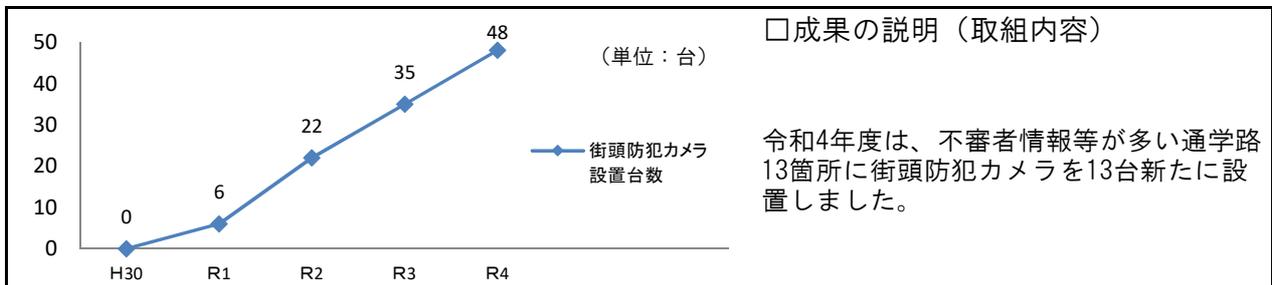
施策番号	4-3-1	実施計画No.	107	重点プロジェクトNo.	①-48	③-100	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	通学路における街頭防犯カメラ設置事業					課名	交通防犯課		
事業内容	犯罪の未然防止を図り、登下校時のさらなる安全に寄与するため、市内小学校の通学路に街頭防犯カメラを設置します。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	人口千人当たりの刑法犯認知件数					現状値 (平成29年)	9.7件		
現状と課題	本市における人口千人当たりの刑法犯認知件数（犯罪率）は、令和4年が6.5件で、前年より0.3件減少していますが、県平均の5.7件を上回っています。各種施策の推進により市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪の発生件数の減少を目指します。								

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	9.6件	9.5件	9.4件	9.4件	9.3件
成果指標の実績値	10.2件	8.5件	7.1件	6.8件	6.5件
達成率	94.1%	111.8%	132.4%	138.2%	143.1%
決算額(千円)	0	3,058	13,124	11,715	10,916

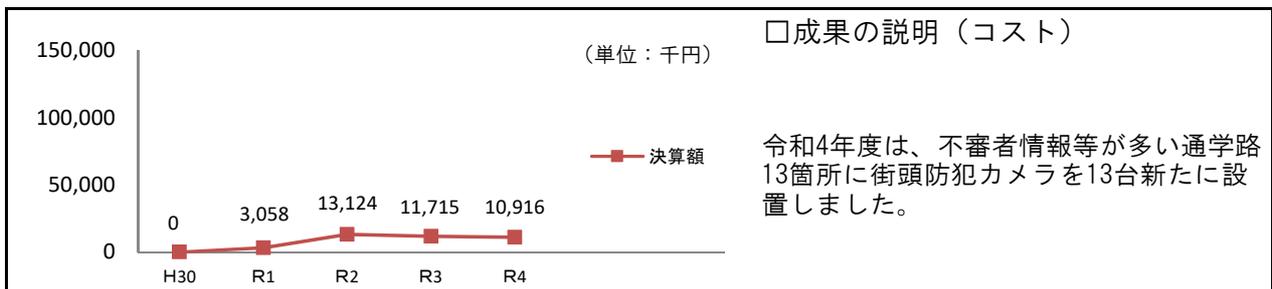
1 人口千人当たりの刑法犯認知件数の推移



2 通学路における街頭防犯カメラ設置台数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市、警察及び教育委員会による通学路合同点検で抽出した危険箇所や不審者情報等が多い通学路13箇所に13台の街頭防犯カメラを設置しました。	
今後の方向性	見直し	令和4年度に13箇所に13台の街頭防犯カメラを設置したことによって、令和元年度から令和4年度の4年間で、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路（学校区）に、概ね2台ずつ、合計46箇所に48台の街頭防犯カメラを設置する計画が完了した。今後は、令和9年度までに通学路における街頭防犯カメラを概ね1台ずつ増設する。

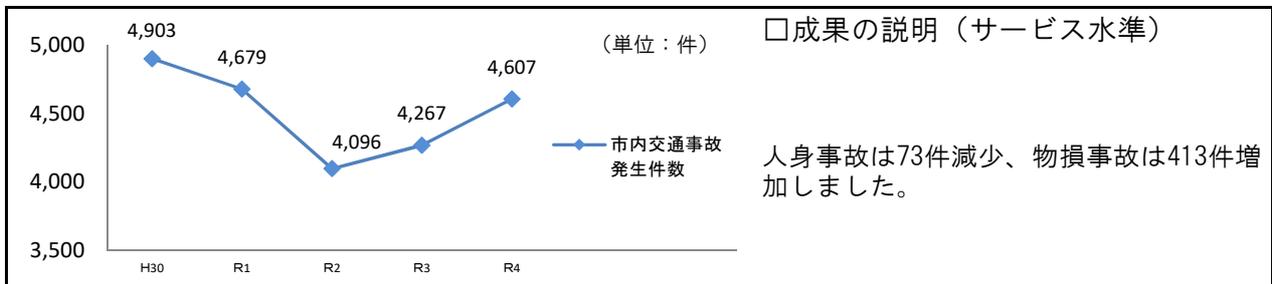
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

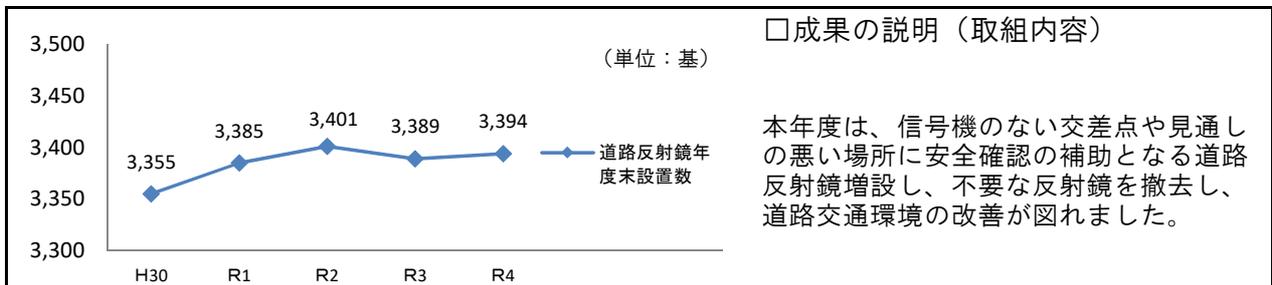
施策番号	4-3-2	実施計画No.	109	重点プロジェクトNo.	③-101	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	交通安全施設設置・管理事業					課名	交通防犯課	
事業内容	交通の安全を確保するため、道路反射鏡の設置及び維持管理を行うとともに、道路区画線等については、交通安全上必要な箇所への設置及び経年劣化した箇所の再塗布を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市内交通事故発生件数				現状値 (平成29年)	4,769件		
現状と課題	信号機のない交差点や見通しの悪い場所に道路反射鏡を、道路区画線等については警察署と連携し、現場診断等により必要な場所に設置しています。今後も道路環境の変化に対応した整備が求められています。							

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	4,735件	4,701件	4,667件	4,633件	4,600件
成果指標の実績値	4,903件	4,679件	4,096件	4,267件	4,607件
達成率	96.6%	100.5%	113.9%	108.5%	99.8%
決算額(千円)	20,457	33,333	40,132	36,693	21,664

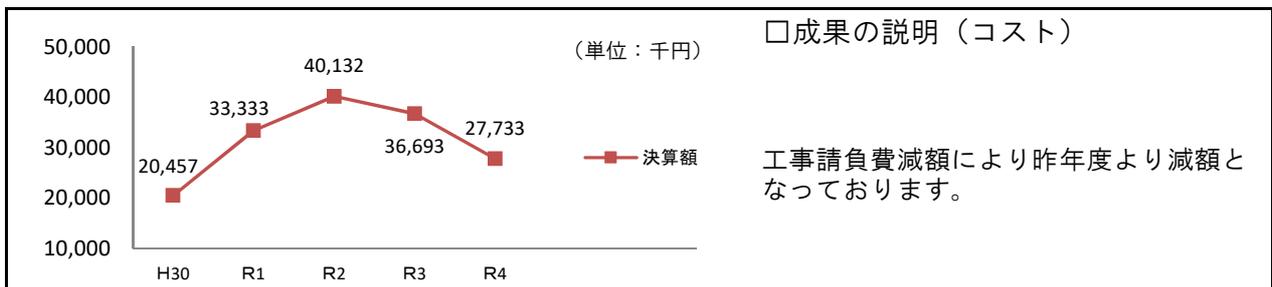
1 市内交通事故発生件数



2 道路反射鏡設置数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年と比較すると人身事故は73件の減、物損事故は413件の増となりました、成果指標の実績値は、目標値よりを7件上回る結果となりました。継続的に交通安全施設の設置や道路区画線の塗布を行い、交通安全の確保に努めてまいります。
今後の方向性	現状維持 信号機のない交差点や見通しの悪い場所への道路反射鏡の設置、交通安全上必要な箇所への道路区画線等の設置及び摩耗箇所への再塗布により、交通事故件数を減少させることは実現可能であると考えます。引き続き交通安全施設の整備や適正な維持管理に取り組んでいきます。

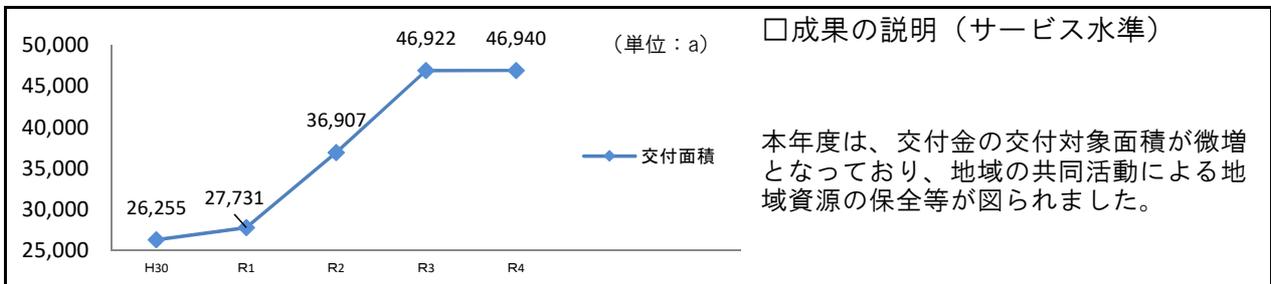
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

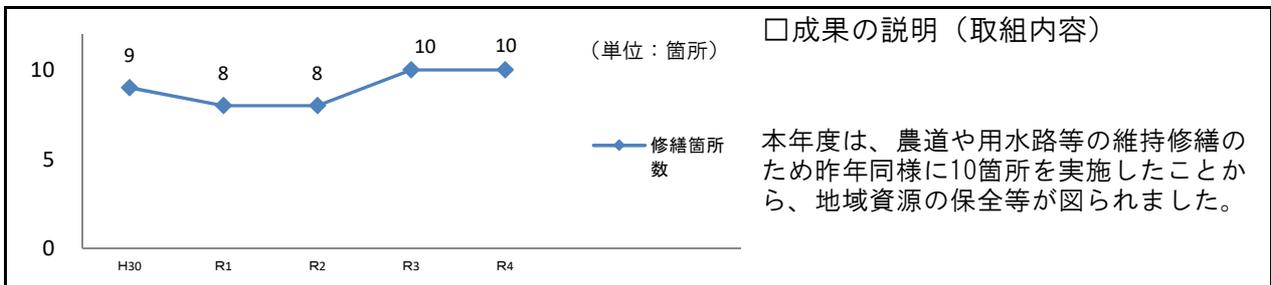
施策番号	5-4-1	実施計画No.	132	重点プロジェクトNo.	③-102	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	農地事務					課名	農業振興課		
事業内容	農業用地及び農道や用排水路等の管理、維持管理補修を行うとともに、県や改良区が管理する土地改良施設に対し経費を負担し、健全な農地の保全を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	多面的機能支払交付金の交付対象面積					現状値 (平成29年度)	23,392a		
現状と課題	農業施設の老朽化や農業従事者の高齢化に伴い農業施設等の維持管理や農地保全を図るための保全管理が増加しています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	24,000a	25,000a	26,000a	27,000a	28,000a
成果指標の実績値	26,255a	27,731a	36,907a	46,922a	46,940a
達成率	109.4%	110.9%	142.0%	173.8%	167.6%
決算額(千円)	35,091	40,762	39,891	47,662	47,000

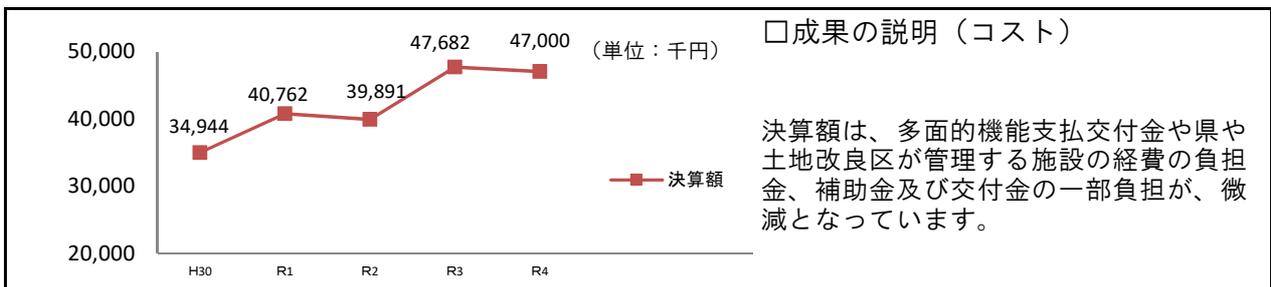
1 多面的機能支払交付金の交付対象面積



2 施設維持修繕箇所数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	多面的機能支払交付金の活用や県や土地改良区が管理する施設の経費の一部負担及び農業施設の維持修繕を実施したことにより、農業用地及び用排水路等の保全が図られたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	農業施設の老朽化が進み、施設の修繕、県や土地改良区への経費の負担等は増加傾向となっており、引き続き、地域住民や県、土地改良等と連携を図りながら、農業用地及び用排水路等の保全に取り組んでいきます。

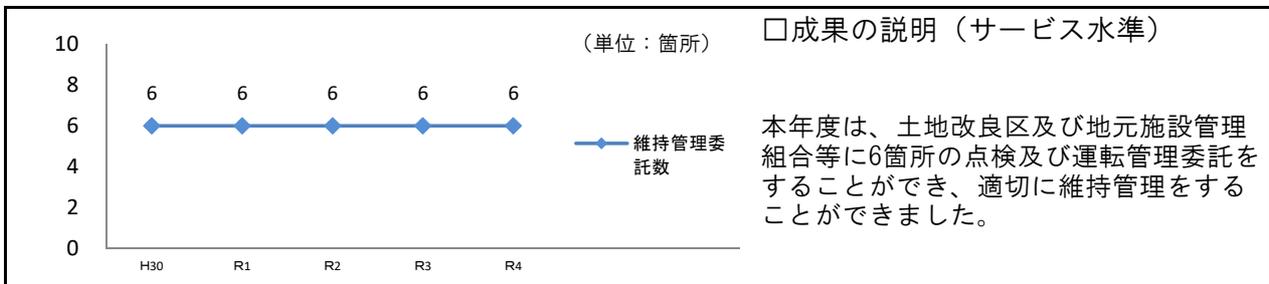
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

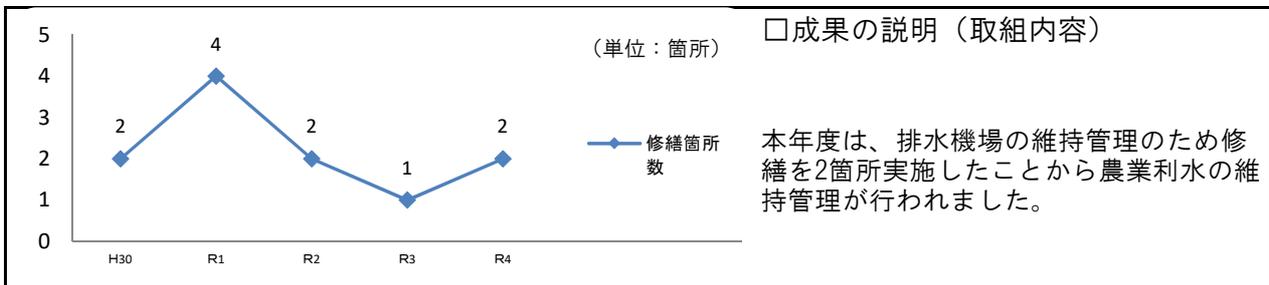
施策番号	5-4-1	実施計画No.	133	重点プロジェクトNo.	③-103	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農業用揚・排水機場維持管理事業					課名	農業振興課	
事業内容	農業用揚・排水場を維持管理するとともに協定書に基づき土地改良区及び地元施設管理組合に点検および運転管理を実施することにより、農業利水施設の維持管理をするものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	揚・排水機場の維持管理委託数					現状値 (平成29年度)	6箇所	
現状と課題	農業用揚・排水場施設などの老朽化が進み、農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であり、施設の更新が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
成果指標の実績値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	13,048	11,612	19,572	19,050	33,058

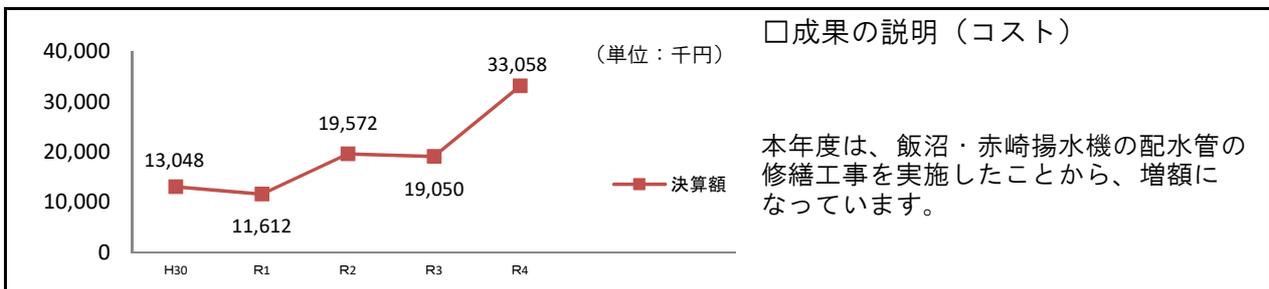
1 揚・排水機場の維持管理委託数



2 施設修繕箇所



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、農業用揚、排水機場の維持管理を土地改良区、地元施設管理組合に委託することや施設修繕工事などの実施により、農業利水施設が適切に維持管理されたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であるため、引き続き、土地改良区や地元施設管理組合と連携を図りながら、農業用揚・排水機場の維持管理に取り組み、農業生産性の向上を図っていきます。

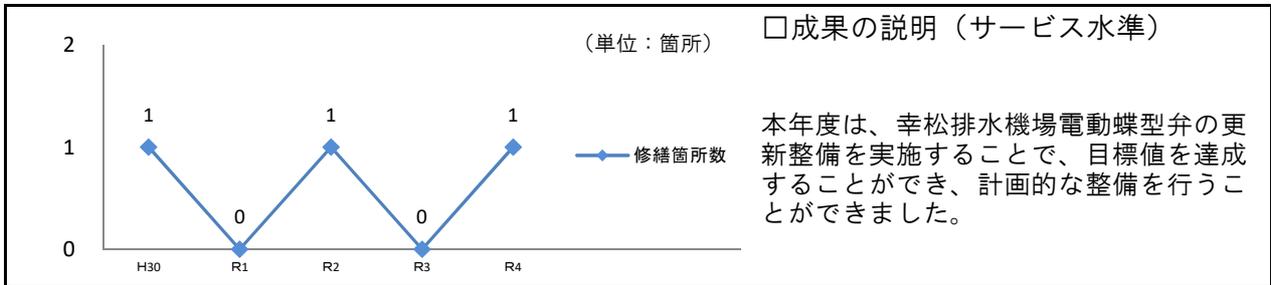
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

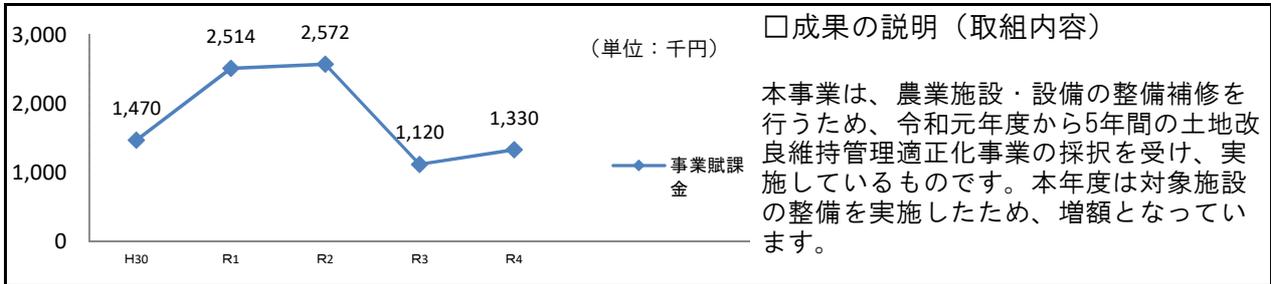
施策番号	5-4-1	実施計画No.	134	重点プロジェクトNo.	③-104	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農業用施設適正化事業					課名	農業振興課	
事業内容	土地改良事業で整備された施設、設備の整備補修を土地改良施設維持管理適正化事業の採択を受け、施設の機能保持と耐用年数の確保を目的とする計画的な整備及び維持管理費の平準化を図るものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農業用施設の補修箇所数				現状値 (平成29年度)	1箇所		
現状と課題	土地改良施設は、老朽化に伴い施設の整備補修が必要不可欠となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
成果指標の実績値	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所	1箇所
達成率	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
決算額(千円)	14,268	2,514	7,247	1,120	17,522

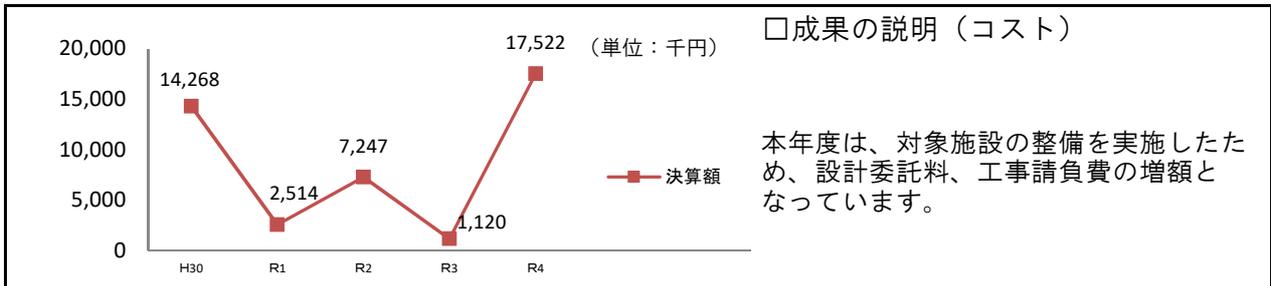
1 農業用施設の補修箇所数



2 事業賦課金



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、電動蝶型弁の整備を実施しており、計画的な整備及び維持管理費の平準化が図られていると考えています。	
今後の方向性	現状維持	令和元年度から令和5年度までの整備補修実施計画による整備補修が的確に実施できるように関係機関と連携を図り、引き続き本事業による農業施設の計画的な整備及び維持管理費の平準化を図っていきます。

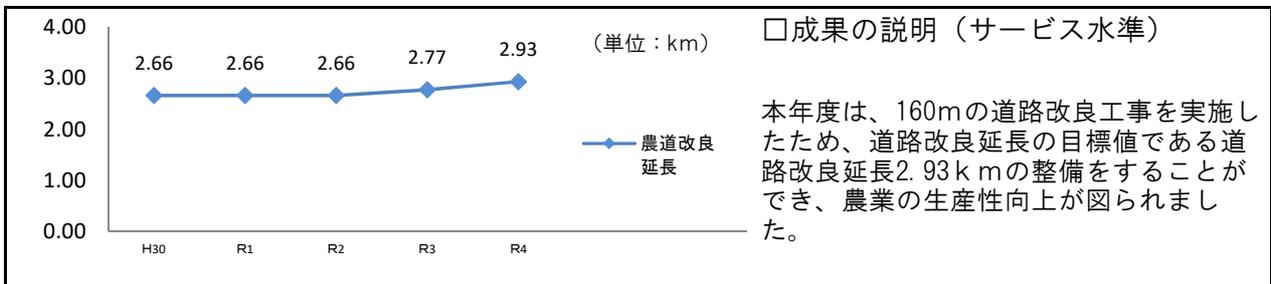
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

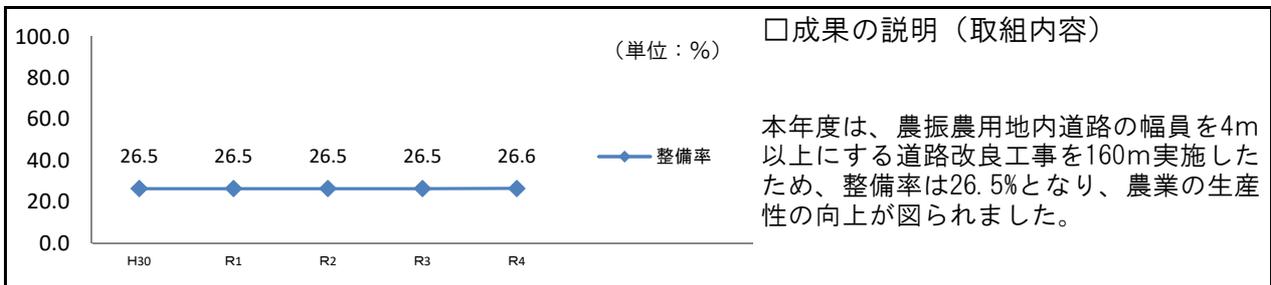
施策番号	5-4-1	実施計画No.	135	重点プロジェクトNo.	③-105	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農道整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	大型機械の搬入や運行を良好にして農業の生産性の向上を図るため、農道を整備をするものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農振農用地内の道路改良延長					現状値 (平成29年度)	2.39 km	
現状と課題	農業機械の搬入・運行を良好にし、農地利用の集積化、作付形態の改善及び生産性の向上を図るにあたり、農道が狭あいであることが阻害要件の1つとなっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.66km	2.78km	3.20km	3.47km	3.89km
成果指標の実績値	2.66km	2.66km	2.66km	2.77km	2.93km
達成率	100.0%	95.7%	83.1%	79.8%	75.3%
決算額(千円)	18,284	5,986	7,150	13,421	14,135

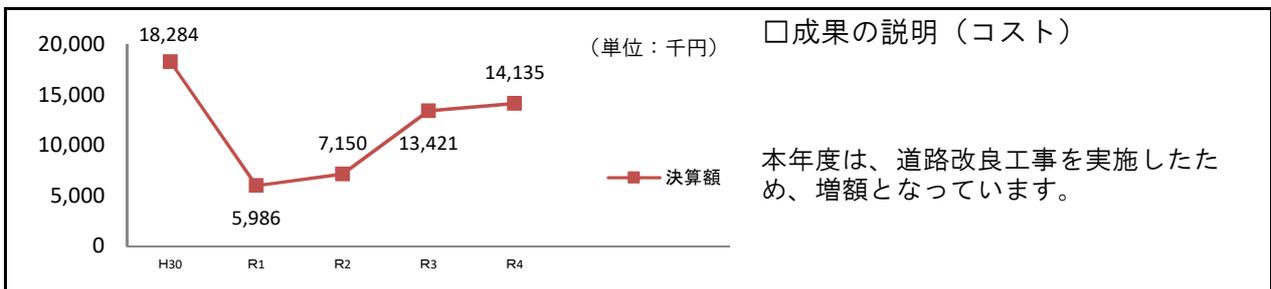
1 農振農用地内の道路改良延長



2 農振農用地内道路（幹線を除く）の幅員4m以上整備率



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、道路改良工事を実施したことで、実施路線地区においては、大型機械の搬入や運行が可能となり、農業の生産性の向上が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	道路改良工事を実施することにより、農業基盤が整備され、農業の生産性の向上など、農業の振興が図られるため、引き続き計画的に事業を実施していきます。

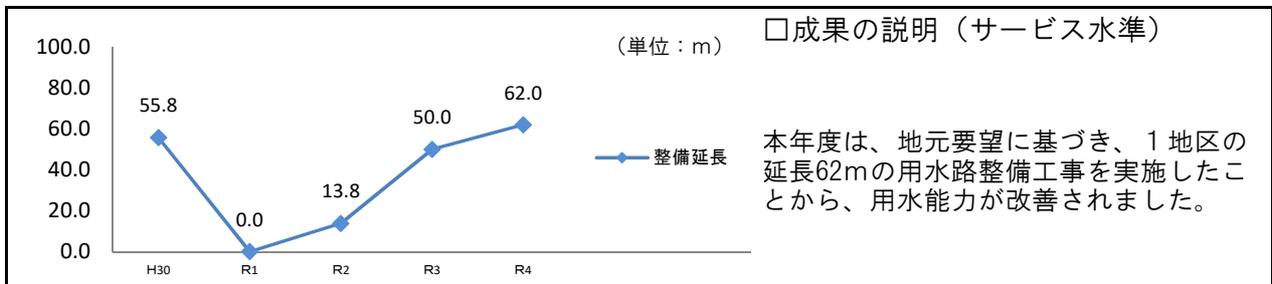
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

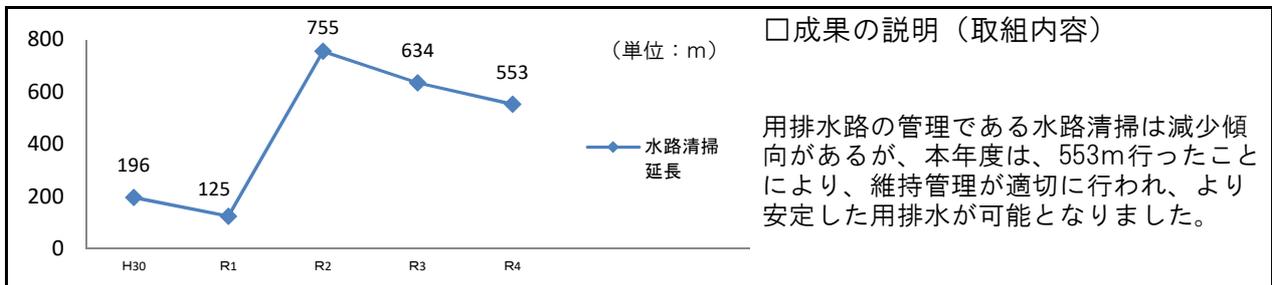
施策番号	5-4-1	実施計画No.	136	重点プロジェクトNo.	③-106	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	用排水路整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	農業用用水路を管理するとともに、乾田化及び用水の供給のために用排水路を整備するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	排水路整備延長				現状値 (平成29年度)	1地区		
現状と課題	用排水路の整備により、農業生産基盤と農業の振興が図られるため、計画的な整備や維持管理を実施する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
成果指標の実績値	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	6,942	11,434	6,266	10,077	7,576

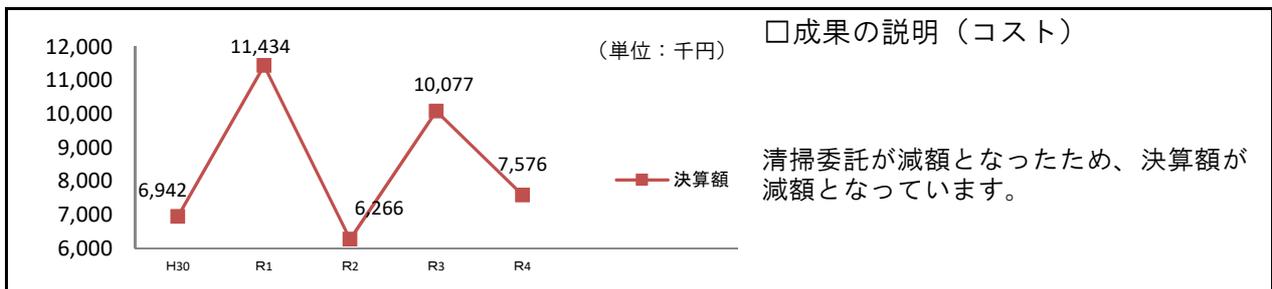
1 排水路整備延長



2 水路清掃延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、用水路整備や水路清掃による維持管理が実施されたことにより、農業生産基盤の整備が図られ、用排水路の安定供給に繋がったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	用排水路の整備により、農業基盤が整備され、農業の生産性の向上など、農業の振興が図られるため、引き続き計画的に事業を実施していきます。

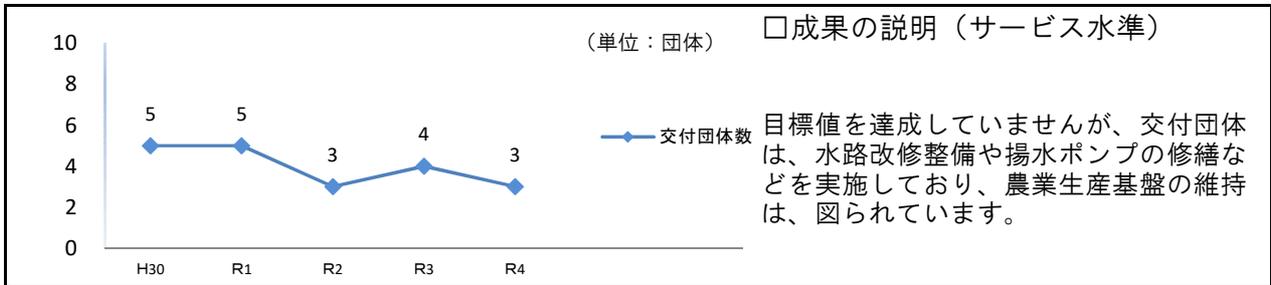
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

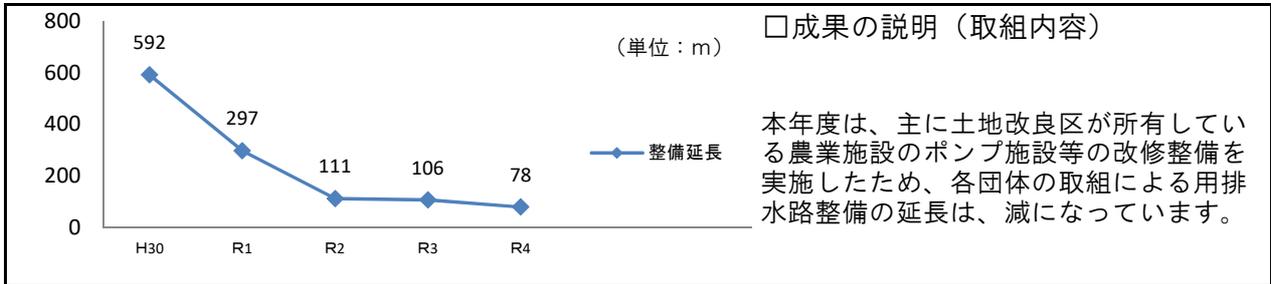
施策番号	5-4-1	実施計画No.	137	重点プロジェクトNo.	③-107	-	補助金No.	61
事業名 (補助金名)	土地改良事業補助金					課名	農業振興課	
事業内容	農家の負担軽減や生産基盤の維持と農業振興の啓発を図るため、用排水路やポンプ施設等の農業生産基盤を改修整備する土地改良区や農家組合等に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農業基盤整備等の改修整備を実施し、交付金を交付した団体数				現状値 (平成29年度)	5団体		
現状と課題	農業経営のためには、農業用揚・排水施設や道路などの農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であり、これらの施設の老朽化が顕著で、更新が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6団体	6団体	6団体	6団体	6団体
成果指標の実績値	5団体	5団体	3団体	4団体	3団体
達成率	83.3%	83.3%	50.0%	66.7%	50.0%
決算額(千円)	4,946	5,330	3,245	4,600	3,603

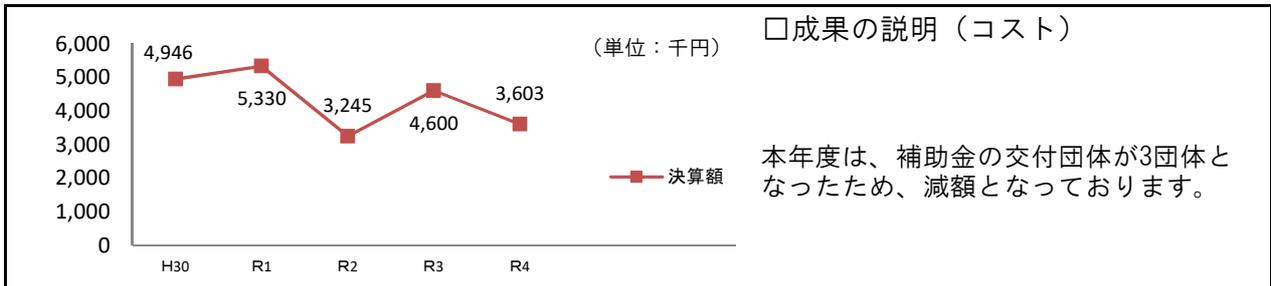
1 農業基盤整備等の改修整備を実施し、交付金を交付した団体数



2 用排水路の整備延長



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、施設の老朽化による、水路改修整備やポンプ施設の更新整備を実施することにより、整備された施設の事業量は一定水準を維持していることから、補助金を交付することにより土地改良区や農家組合の負担軽減や農業生産基盤の維持が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	本補助金により、農業生産基盤の整備や維持が促進されることから、今後においても土地改良区、農家組合等が行う改修、整備に対して補助金を交付することで、農業生産基盤の改修整備を推進していきます。

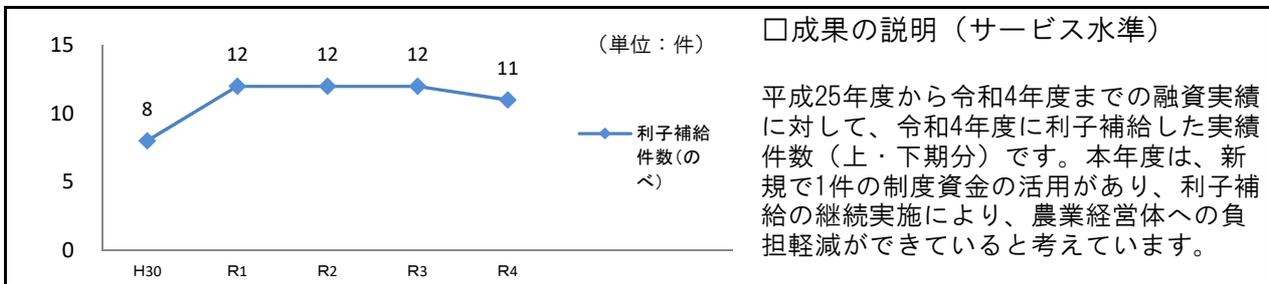
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

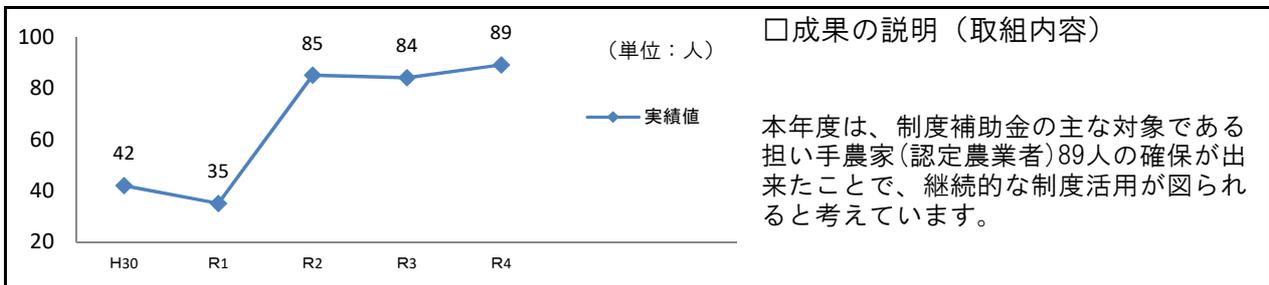
施策番号	5-4-1	実施計画No.	138	重点プロジェクトNo.	③-108	-	補助金No.	62	
事業名 (補助金名)	農業近代化資金利子補助金					課名	農業振興課		
事業内容	施設や機械等を購入した際の負担を軽減するため、近代化資金の貸付を行った金融機関に対し利子補給を行い、農業経営の近代化を図るものです。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	利子補給件数					現状値 (平成29年度)	12件		
現状と課題	農業経営者の高齢化や後継者不足の中で、意欲ある農業経営者が効率的で安定した農業経営が行えるよう、施設や機械の近代化を促進していく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	12件	12件	12件	13件	13件
成果指標の実績値	8件	12件	12件	12件	11件
達成率	66.7%	100.0%	100.0%	92.3%	84.6%
決算額(千円)	176	175	150	116	105

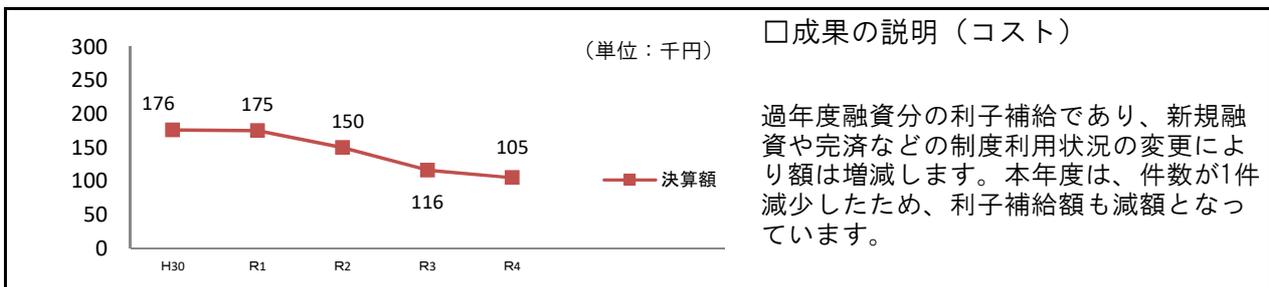
1 利子補給件数（のべ）



2 補助対象担い手農家数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新規で1件の制度資金の活用がありました。本制度は、制度融資活用者に対して、適性に利子補給を行うことで、施設や機械等を購入した負担が軽減されることから、継続した推進を図り、農業経営の近代化を促進していきたいと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	制度融資活用者に対して、適正に利子補給を行うことで、施設や機械等を購入した際の負担が軽減され、農業経営の近代化が促進されることから、今後も適正な利子補給を行い、農業経営の近代化を図っていきます。

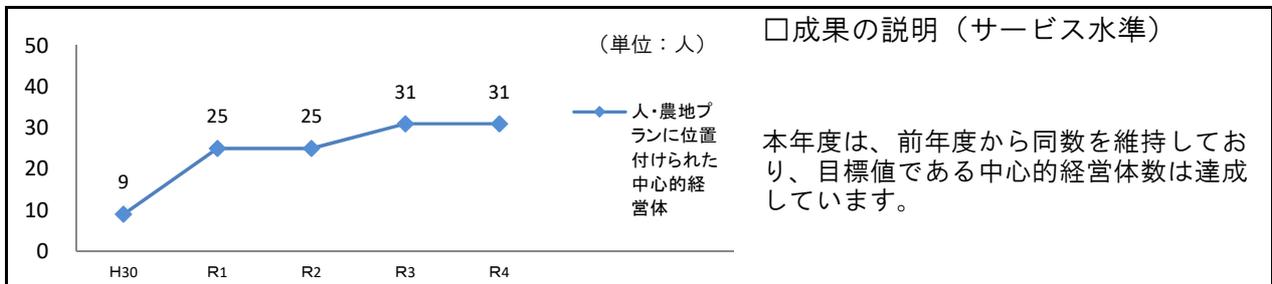
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

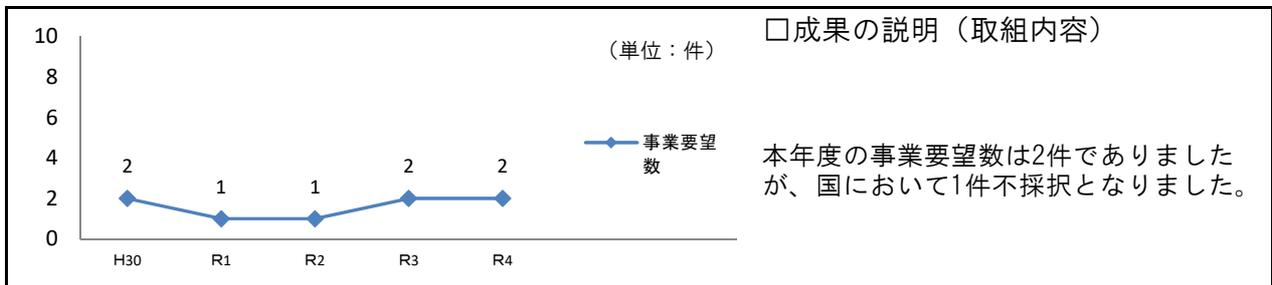
施策番号	5-4-1	実施計画No.	139	重点プロジェクトNo.	③-109	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	経営体育成条件整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	地域の中心的な担い手となる農業者を育成するため融資を活用し農業用機械等を導入する取組みに対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	人・農地プランに位置付けられた中心的経営体					現状値 (平成29年度)	7人	
現状と課題	機械や施設を整え、経営規模の拡大を図る農業者に対し、地域の中心的な担い手として育成していく必要があります。また、年々、採択要件が厳しくなっているため、要件を見極めながら、慎重に推進していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9人	10人	11人	12人	12人
成果指標の実績値	9人	25人	25人	31人	31人
達成率	100.0%	250.0%	227.3%	258.3%	258.3%
決算額(千円)	1,576	0	518	0	2,658

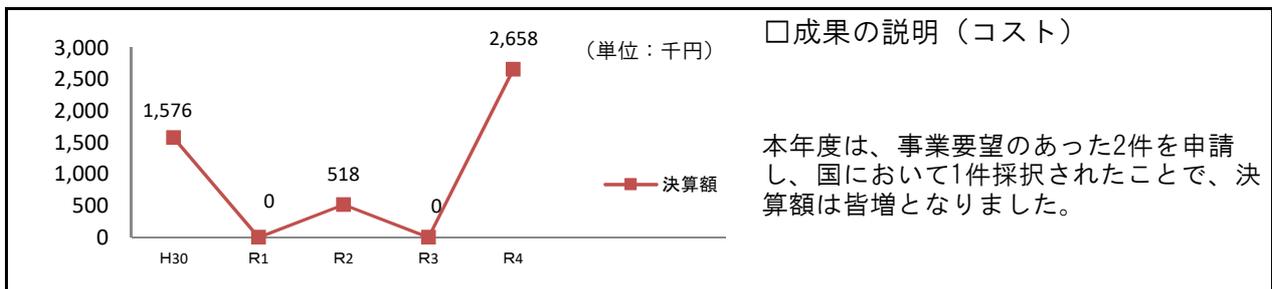
1 人・農地プランに位置付けられた中心的経営体



2 事業要望数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、内牧地区、および飯沼地区の中心的経営体で本事業を活用し、農業用機械等の要望申請したところ、内牧地区は採択されず飯沼地区のみ採択されました。飯沼地区は機械を導入することとなり、作業の効率化と安定的な農業収入の確保に繋がることができました。引き続き、必要とする農業経営体の要望を取りまとめ行くとともに、申請等に係る支援をしていきます。導入できませんでした。	
今後の方向性	現状維持	中心的経営体数が十分でない地域もあるため、掘り起し等を進めながら増加に繋がっていきます。また、機械等の導入は、作業の効率化と安定的な農業収入の確保に繋がることがありますので、引き続き、他の要望と併せて継続要望していきます。

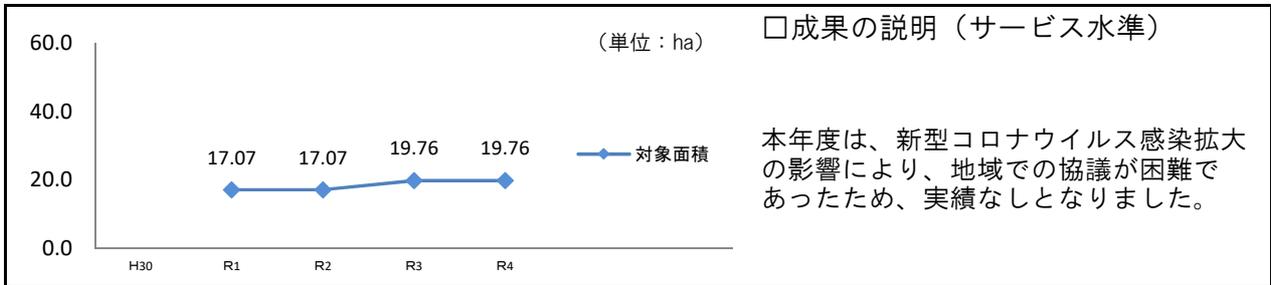
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

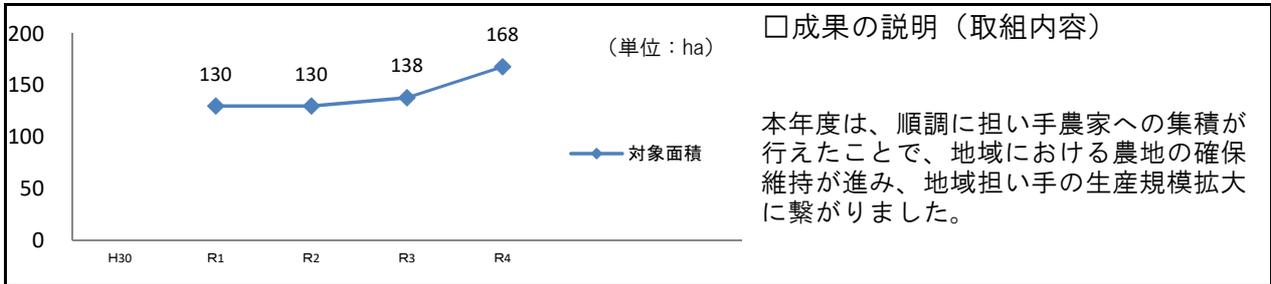
施策番号	5-4-1	実施計画No.	140	重点プロジェクトNo.	③-110	-	補助金No.	63
事業名 (補助金名)	農地集積事業					課名	農業振興課	
事業内容	農地流動化奨励補助金による担い手への農地集積、及び農地中間管理事業による担い手への農地の集積・集約化を推進していきます。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農地中間管理事業に係る地域集積協力金対象面積					現状値 (平成30年度)	—	
現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足のため、農地の維持が困難になってきており、担い手となる農家へ農地の集積を進める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	17.07ha	40.00ha	60.00ha	80.00ha
成果指標の実績値	—	17.07ha	17.07ha	19.76ha	19.76ha
達成率	—	100.0%	—	32.9%	24.7%
決算額(千円)	—	7,343	4,580	5,504	6,187

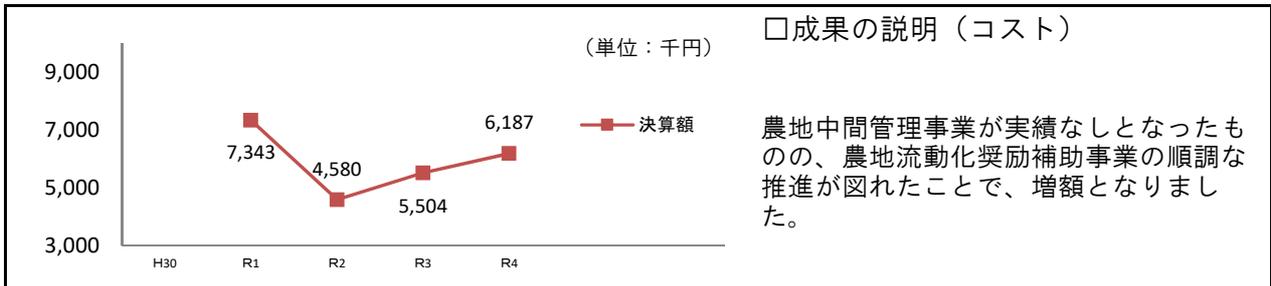
1 農地中間管理事業に係る地域集積協力金対象面積



2 農地流動化奨励補助金の対象面積



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、農地中間管理事業の推進が困難であったため、農地中間管理事業は実績なしとなりましたが、農地流動化奨励補助事業の順調な推進が図れたことで、農地集積事業全体の推進向上が達成されたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	農地中間管理事業については、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、協議が円滑化されることが見込まれるため、農地の集積・集約化の拡大を図り、集積面積と担い手農家の確保に繋げていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

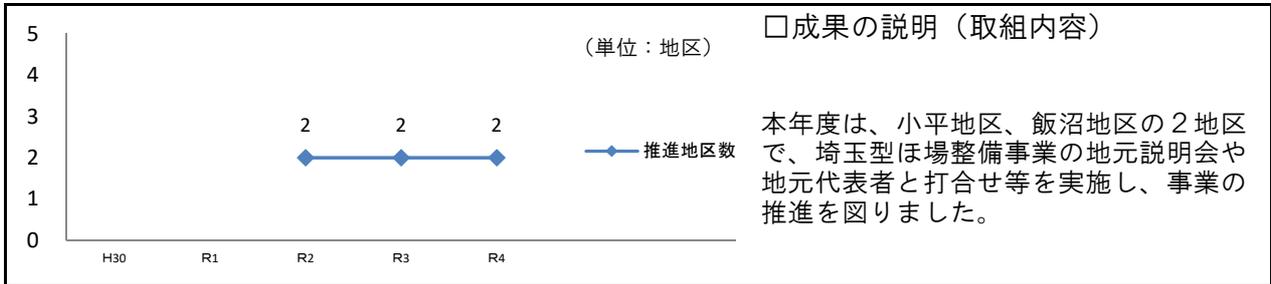
施策番号	5-4-1	実施計画No.	141	重点プロジェクトNo.	③-111	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	埼玉型ほ場整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	埼玉県が事業主体となり、ほ場の大区画化、用排水路、農道拡幅整備を行う簡易なほ場整備事業の整備と合わせ、農地の貸借りを支援し、農地集約、農作業の効率化、農業生産性の向上を図る事業です。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	埼玉型ほ場整備説明会実施回数					現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	農業従事者の高齢化、後継者不足等が進み、農業用排水路の老朽化による維持管理労力の増大、農業機械の大型化に対応しない区画、農道状況から農地の貸借などが行われていない状況にあります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2回	2回	2回
成果指標の実績値	-	-	4回	10回	11回
達成率	-	-	200.0%	500.0%	550.0%
決算額(千円)	-	-	2,692	2,488	19,950

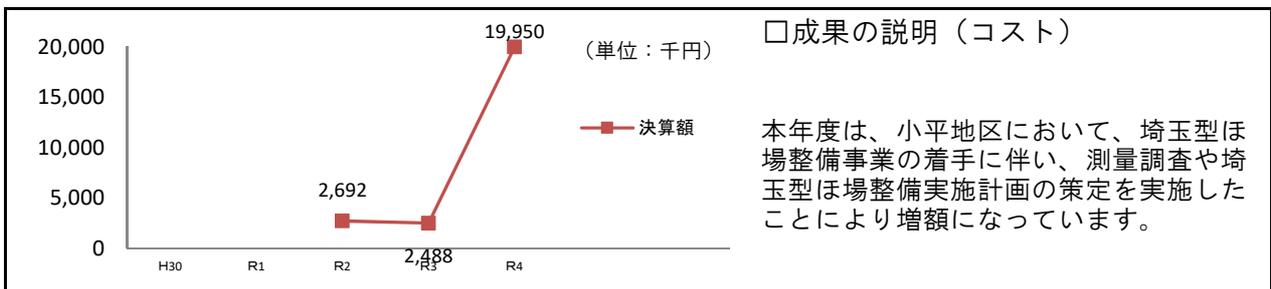
1 埼玉型ほ場整備事業説明会実施回数



2 埼玉型ほ場整備事業推進地区数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、埼玉県と協働して小平地区の地元説明会や測量調査、埼玉型ほ場整備実施計画の策定などを実施しており、整備の実現に向けて着実に推進することができたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	持続可能な力強い農業の実現に向けては、農地の集約、ほ場の大区画化、農道の拡幅が整備が必要なため、埼玉県と連携を図りながら、地元説明会などに取り組み、埼玉型ほ場整備事業の推進を行っていきます。

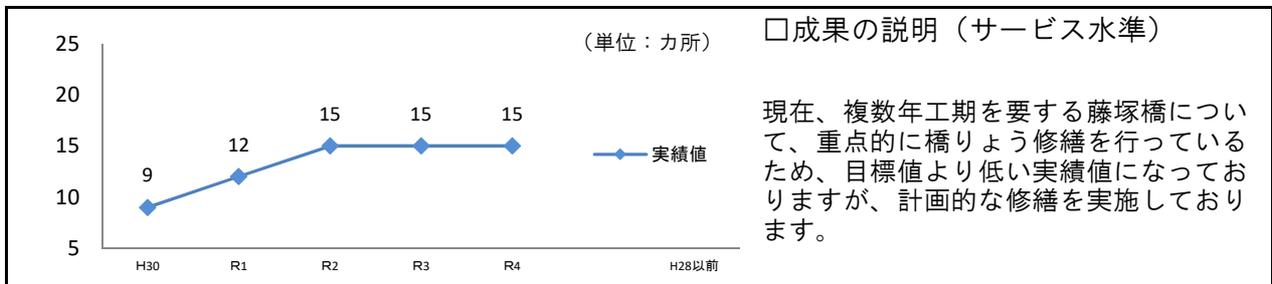
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

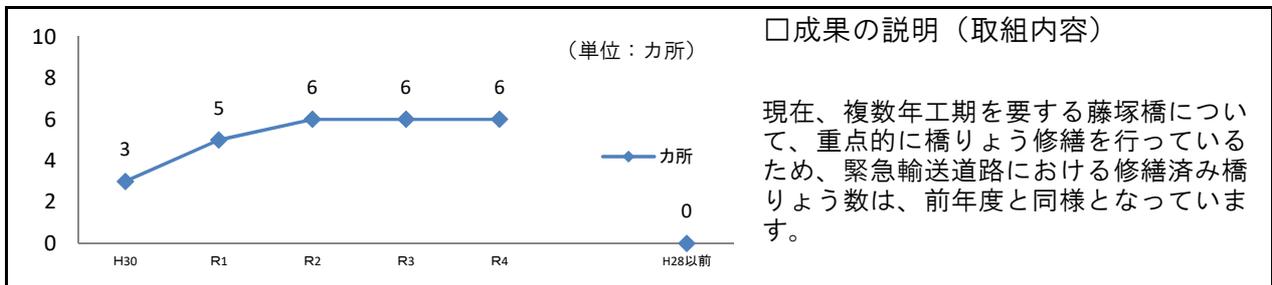
施策番号	6-4-1	実施計画No.	165	重点プロジェクトNo.	③-112	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	橋りょう長寿命化修繕事業					課名	道路建設課	
事業内容	橋りょうのライフサイクルコストの最小化と構造の長寿命化を図るため、適切な管理と計画的な修繕を実施し、人々が安全安心に移動できるようにします。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	修繕済み橋りょう数				現状値 (平成29年度)	5カ所		
現状と課題	市が管理する道路橋は、1970年代に建設された橋りょうが多く、約20年後には建設後約50年を経過する橋りょうが約70%を占める状況です。このため、一斉に大規模修繕が必要となり、短期的に大きな財政負担が生じることが予測されます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9カ所	13カ所	17カ所	21カ所	25カ所
成果指標の実績値	9カ所	12カ所	15カ所	15カ所	15カ所
達成率	100.0%	92.3%	88.2%	71.4%	60.0%
決算額(千円)	329,731	262,995	81,428	89,165	106,169

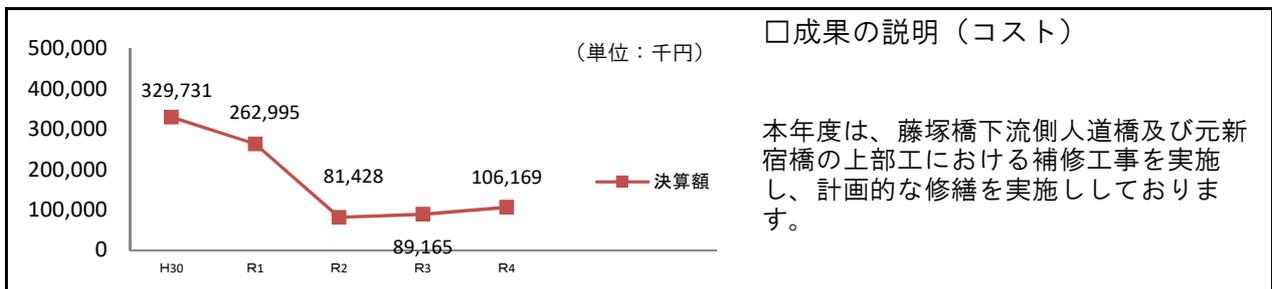
1 修繕済み橋りょう数の推移



2 修繕済み橋りょう（市指定緊急輸送道路）数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の
評価

本年度は、橋りょう長寿命化修繕計画の対象となる重要な橋りょうの修繕を優先的、且つ継続的に実施し、災害時にも安全で安心な市民生活に繋がれたものと考えています。

今後の
方向性

現状維持

現在、藤塚橋（車道橋、上下流の人道橋）の修繕工事を最優先に進めております。今後も引き続き、災害時にも市民生活に支障が出ないよう、安全で安心できる橋りょうを目指し、計画的に橋りょう長寿命化修繕事業を進めてまいります。

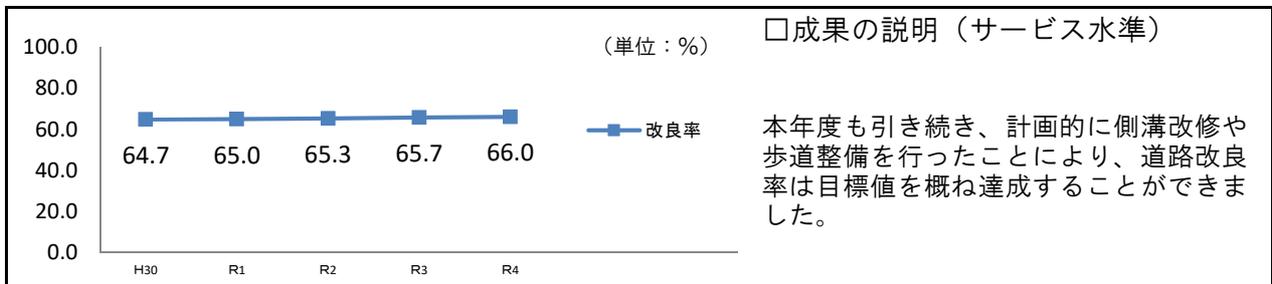
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

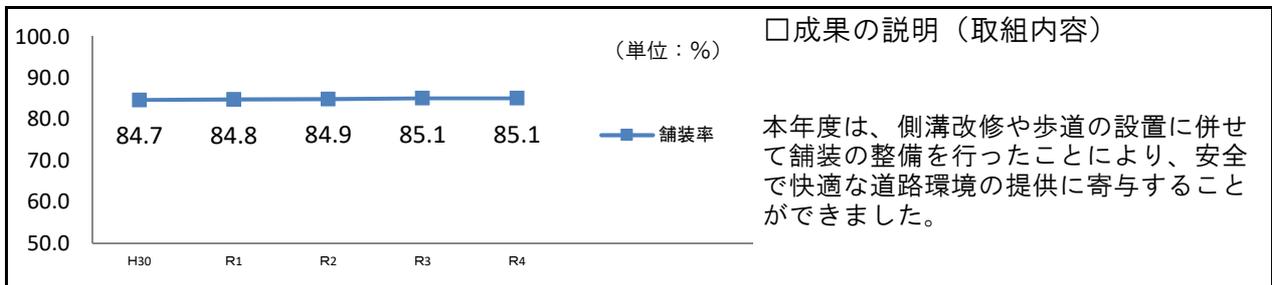
施策番号	6-4-2	実施計画No.	166	重点プロジェクトNo.	③-113	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	生活道路や歩道および交通安全施設の整備を行い、交通安全の充実および利便性向上を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	道路改良率				現状値 (平成29年度)	64.1%		
現状と課題	近年、高齢者ドライバーによる交通事故の増加や、通学路での人身事故が多発していることから、市内全域において安心・安全な道路の整備が求められています。このため、優先順位をつけて計画的に道路の拡幅整備や歩道の整備を進めていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	64.6%	65.1%	65.5%	66.0%	66.5%
成果指標の実績値	64.7%	65.0%	65.3%	65.7%	66.0%
達成率	100.2%	99.8%	99.7%	99.5%	99.2%
決算額(千円)	173,487	89,547	89,067	93,962	181,710

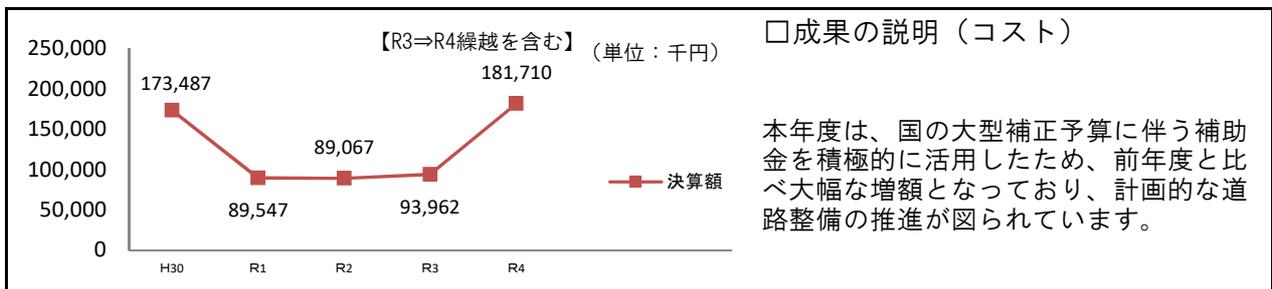
1 道路改良率



2 舗装率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、計画的な側溝改修や歩道整備による道路拡幅、併せて舗装の整備を行ったことにより、安心・安全な生活道路の充実と利便性の向上に寄与することができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、地域の主要な生活道路を中心として計画的に道路整備に取り組むことで、安心・安全で快適な道路環境の推進を図ります。また、全国的に求められている通学路の安全対策や、本市における駅周辺のバリアフリー化対策についても重点的に実施してまいります。

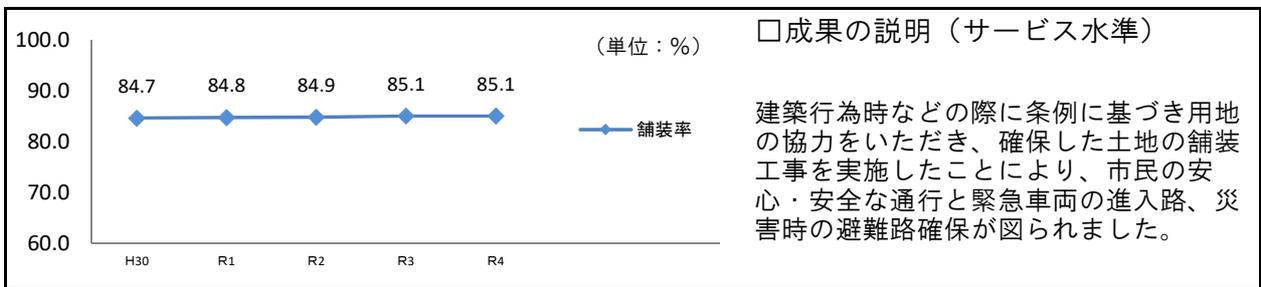
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

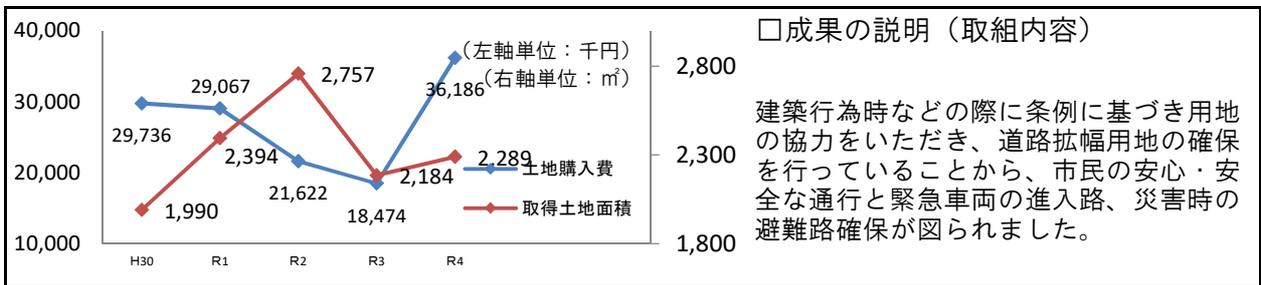
施策番号	6-4-2	実施計画No.	167	重点プロジェクトNo.	③-114	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	生活道路拡幅整備事業					課名	道路管理課	
事業内容	市民の安心・安全な通行と緊急車両の進入路、災害時の安全な避難路確保のため、市民の協力のもと、開発行為・建築行為を行う場合は、生活道路6メートルでの整備を進めます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	舗装率					現状値 (平成29年度)	84.6%	
現状と課題	生活道路は、住宅地へのアクセス機能だけではなく、災害時の避難路や緊急車両の進入路としての役割を担っています。このため、特に狭い道路においては、沿道住民の理解と協力を得ながら、早期に拡幅整備する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	84.7%	84.9%	85.1%	85.3%	85.5%
成果指標の実績値	84.7%	84.8%	84.9%	85.1%	85.1%
達成率	100.0%	99.9%	99.8%	99.8%	99.5%
決算額(千円)	116,666	107,481	104,268	97,193	137,040

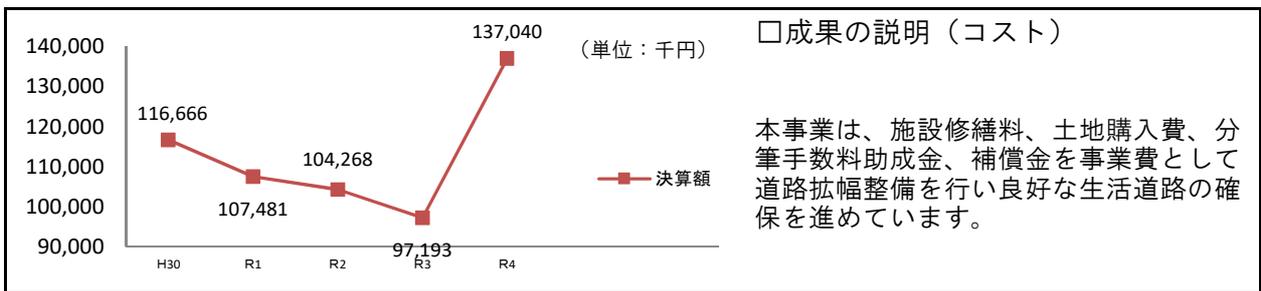
1 舗装率の推移



2 土地購入費及び取得土地面積の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、開発事業に関する条例等に基づき、計画的に道路用地の確保を行い、生活道路の利便性や安全性の向上が図られたものと考えています。身近な生活道路は、市民生活の安全性、利便性、災害時の避難路を確保するうえでも重要な施設であり安全性を第一とした整備が求められています。	
今後の方向性	現状維持	今後も引き続き、地域の主要な生活道路を中心に6メートル未満の道路の拡幅や舗装等を行い安全で快適に移動できる道路の整備を進めていきます。

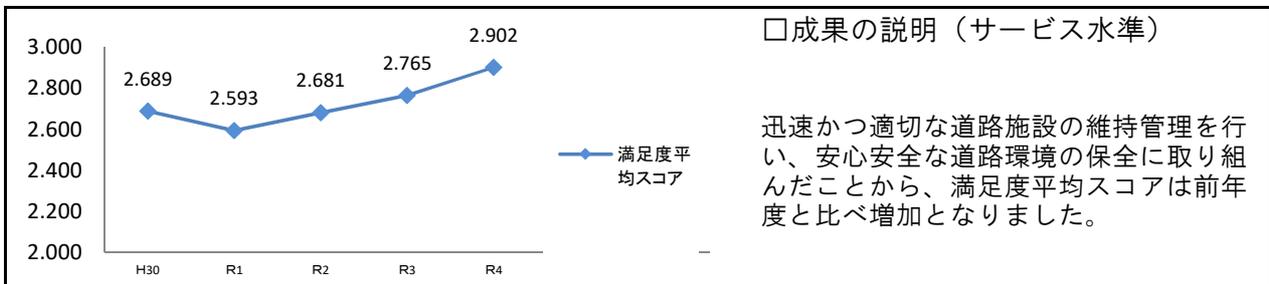
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

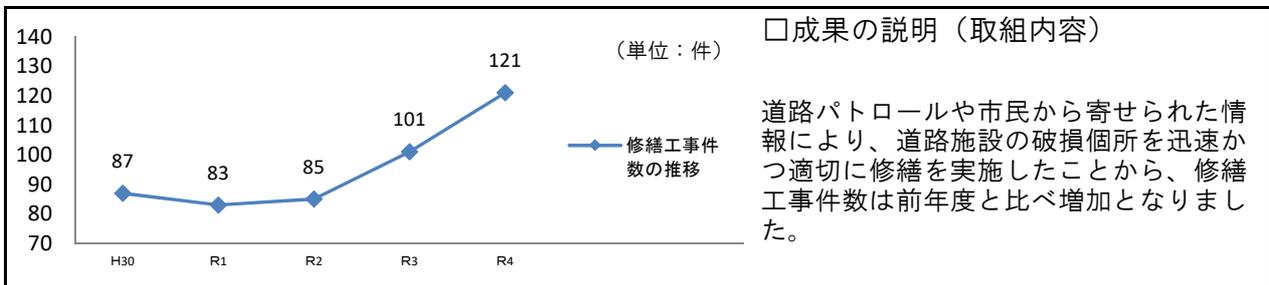
施策番号	6-4-2	実施計画No.	168	重点プロジェクトNo.	③-115	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路施設維持管理事業					課名	道路管理課	
事業内容	緊急を要する道路の維持管理および道路パトロールによる危険箇所の早期発見、さらに効率的で計画的に維持管理を実施することにより、交通安全の向上を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「安心安全に通行できる生活道路」への満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.689 (平成28年度)		
現状と課題	道路施設の老朽化に伴い、維持管理に要する費用が増加しています。そのため効率的で持続可能な維持管理を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.689以上	2.689以上	2.689以上	2.689以上	2.689以上
成果指標の実績値	-	2.593	2.681	2.765	2.902
達成率	-	96.4%	99.7%	102.8%	107.9%
決算額(千円)	347,385	356,407	381,688	413,128	444,835

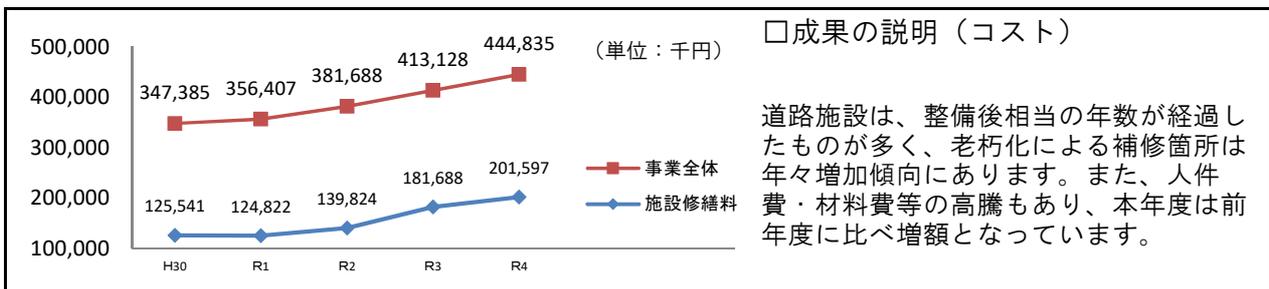
1 「安心安全に通行できる生活道路」への満足度平均スコア（市民意識調査）



2 修繕工事件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、道路陥没や防護柵破損等の危険箇所について、迅速かつ適切に修繕を実施し、道路を安全で快適な状態に維持できたことにより、市民意識調査の道路の満足度アップに寄与したものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	市が管理する道路施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化に伴う維持管理費用の増加が急速に進んでいます。道路施設を将来にわたり持続的に維持管理するため、適切なコスト管理と予防保全に取り組むなど長寿命化を図っていきます。

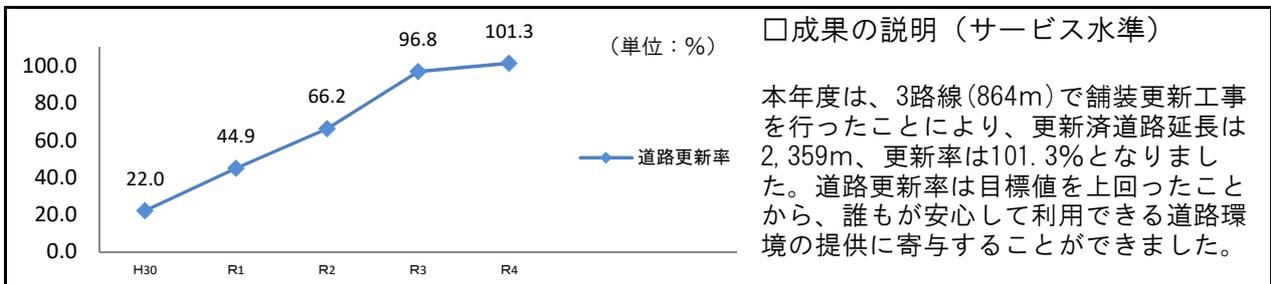
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

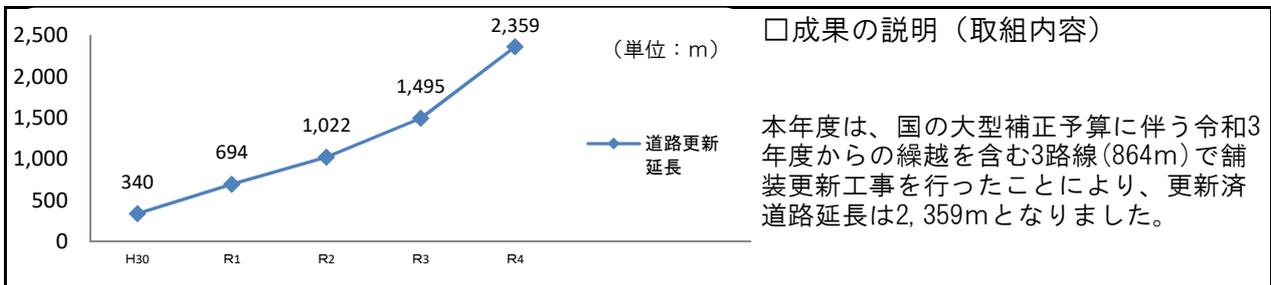
施策番号	6-4-2	実施計画No.	170	重点プロジェクトNo.	③-116	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路施設更新事業					課名	道路建設課	
事業内容	道路施設の老朽化が顕在化しているなか、計画的な道路施設の更新を行うことにより、誰もが安心して利用できる道路環境を提供します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	道路更新率（更新済道路延長／更新計画道路延長）					現状値 (平成29年度)	0.0%	
現状と課題	施設の老朽化に伴う維持管理費用が増加しているため、適切なコスト管理による効率的で持続可能な維持管理を行うことが求められています。このため、将来にわたり持続的に維持管理を行っていくため、従来の事後保全型管理から予防保全型の管理手法へ転換していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	18.0%	38.5%	59.0%	79.5%	100.0%
成果指標の実績値	22.0%	44.9%	66.2%	96.8%	101.3%
達成率	122.2%	116.6%	112.2%	121.8%	101.3%
決算額(千円)	31,954	70,065	37,025	58,565	86,501

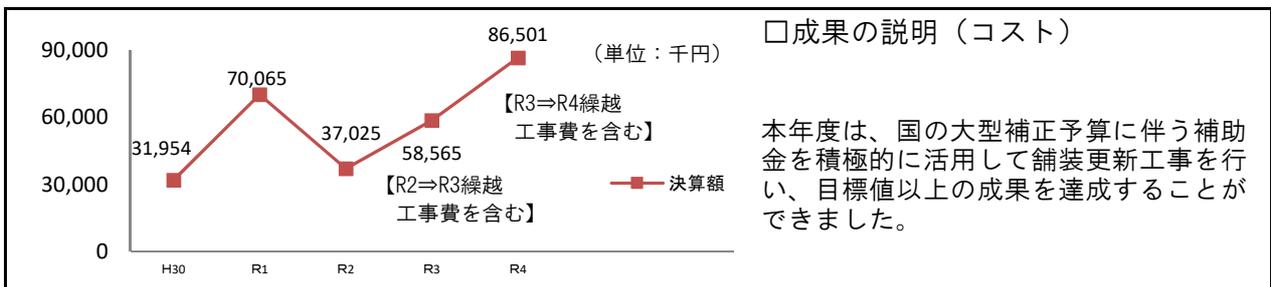
1 道路更新率（更新済道路延長／更新計画道路延長）



2 道路更新延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	昨年度に計画路線延長を1,544mから2,300mに見直しましたが、本年度も国の大型補正予算に伴う補助金を活用し、3路線(864m)で舗装更新工事を行ったことにより、更新済道路延長は2,359m、更新率は101.3%となり、誰もが安心して利用できる道路環境の提供に寄与することができたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	修繕時期を適切に管理していくことにより、誰もが安心して利用できる道路環境の向上が図られており、引き続き、国の有利な補助金を活用しつつ、維持管理費用の縮減と平準化を踏まえた道路修繕を計画的に実施していきます。

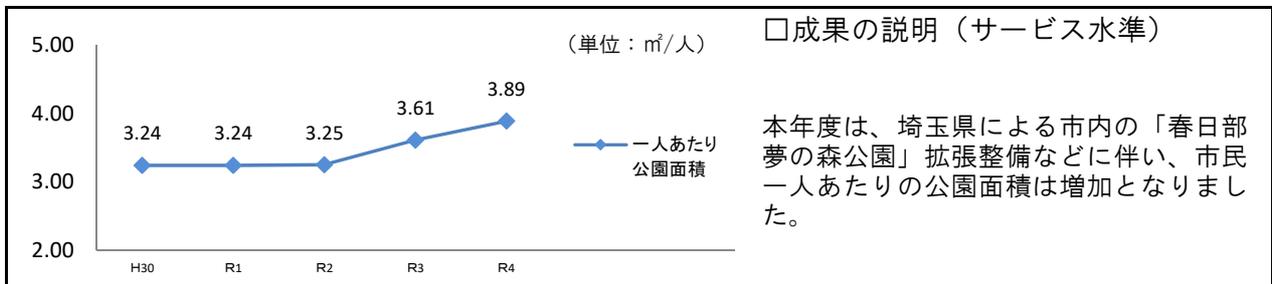
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

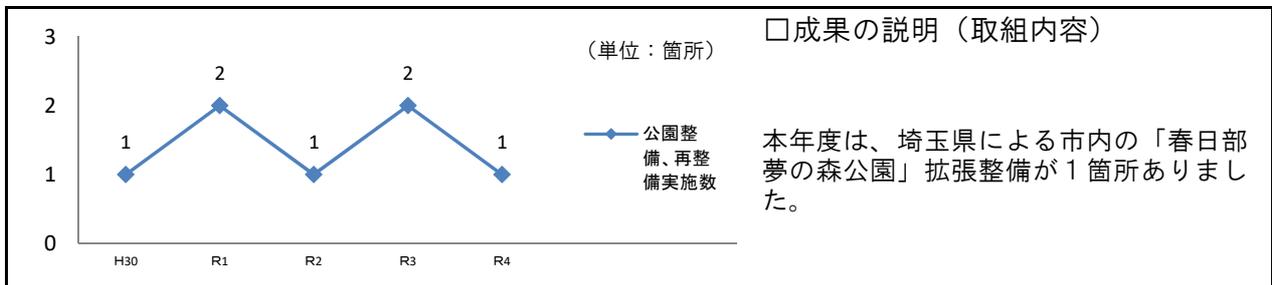
施策番号	6-4-3	実施計画No.	172	重点プロジェクトNo.	③-117	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	都市公園等整備事業					課名	公園緑地課		
事業内容	良好で充実した公園緑地環境を創出又は保全し、市民に安全で快適な憩いの場を提供するものです。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	一人あたり公園面積				現状値 (平成29年度)	3.21㎡/人			
現状と課題	公園緑地は生活環境の向上やレクリエーション・地域コミュニティ形成の場など多様な役割を担っています。人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化や、公園へのニーズに対応した、公園の整備や、配置の見直しなどによる再編を図っていく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.90㎡/人
成果指標の実績値	3.24㎡/人	3.24㎡/人	3.25㎡/人	3.61㎡/人	3.89㎡/人
達成率	100.6%	100.6%	100.9%	112.1%	99.7%
決算額(千円)	19,634	39,228	0	0	821

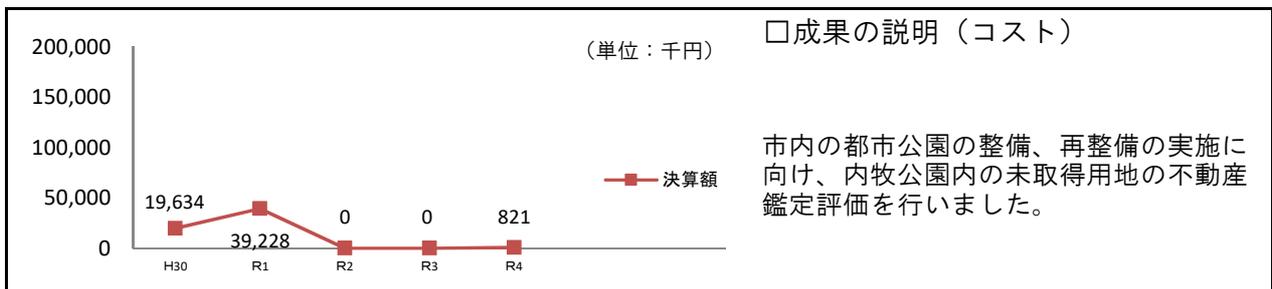
1 一人あたり公園面積



2 公園整備、再整備実施数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、埼玉県による公園拡張整備（春日部夢の森公園 60,900㎡）に伴い、市民一人あたりの公園面積は増加したことから、目標はほぼ達成となりました。今後においても公園整備や再整備などを、計画的に実施してまいります。	
今後の方向性	現状維持	人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化や、公園へのニーズに対応し、生活環境の向上やレクリエーション・地域コミュニティの向上を図るため、新規公園の整備や再整備、既存公園の再編などを実施してまいります。

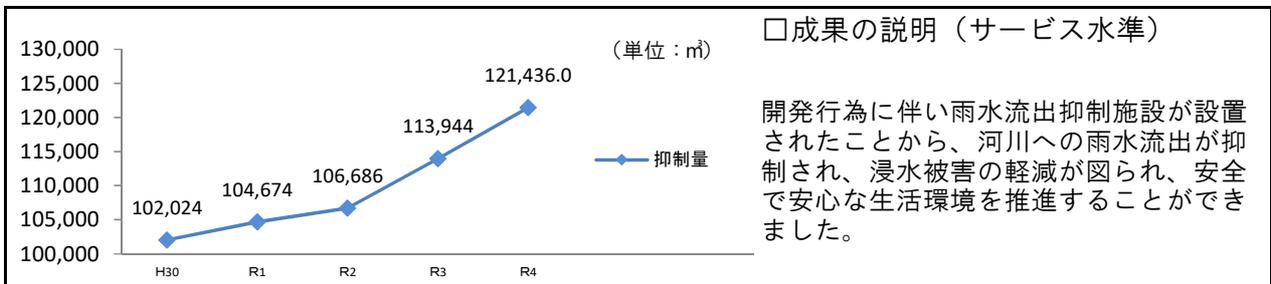
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

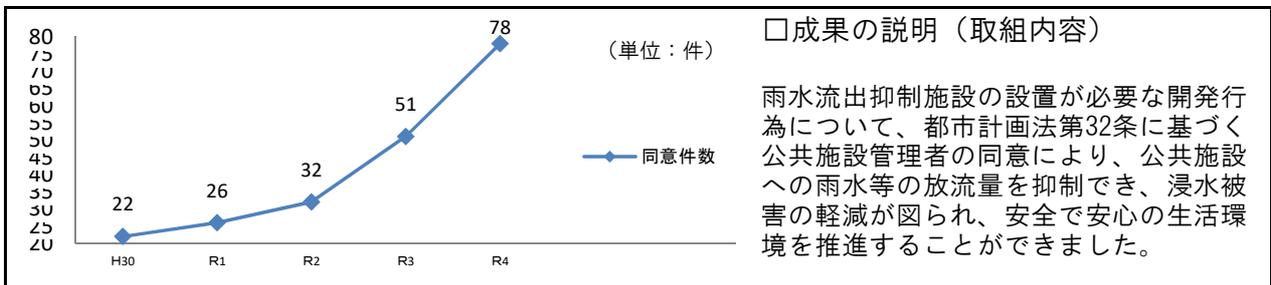
施策番号	6-4-4	実施計画No.	173	重点プロジェクトNo.	③-118	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	治水対策事業				課名	河川課		
事業内容	準用河川を改修整備することにより、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を確保します。				事業開始年度	平成15年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	雨水流出抑制施設の抑制量				現状値 (平成29年度)	101,219m ³		
現状と課題	一定の面積以上の土地の開発行為では、面積に応じ雨水流出抑制施設の設置を条例に基づき設置して頂いているが、開発事業者の負担にもなることから、雨水の流出について理解を深めていただく説明等が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	102,535m ³	103,851m ³	105,167m ³	106,483m ³	107,800m ³
成果指標の実績値	102,024m ³	104,674m ³	106,686m ³	113,944m ³	121,436m ³
達成率	99.5%	100.8%	101.4%	107.0%	112.6%
決算額(千円)	100,066	106,163	417,555	294,638	243,735

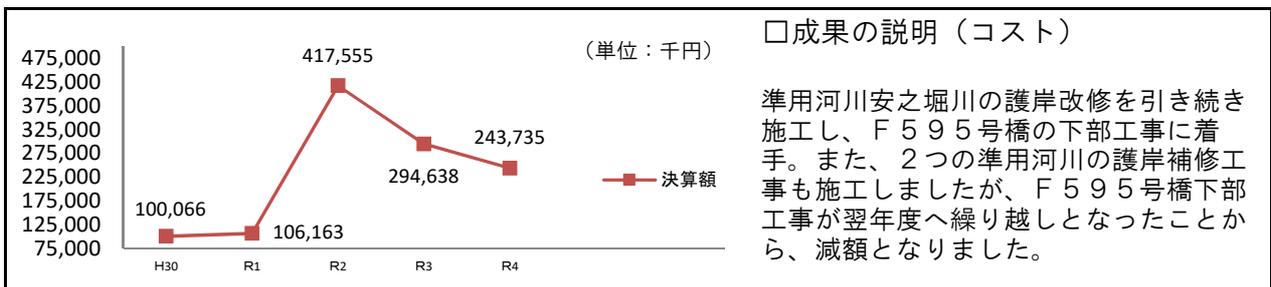
1 雨水流出抑制施設の抑制量



2 都市計画法第32条の同意件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	開発事業者の協力のもと、継続して、条例に基づく雨水流出抑制施設が設置され、また、準用河川の護岸補修工事の実施したことから、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を確保が推進されたと考えています。なお、F595号橋の下部工事においては翌年度へ繰り越しとなりました。	
今後の方向性	現状維持	今後も開発行為等に伴う公共施設への雨水等の放流量の確認、雨水流出抑制施設の整備を求めるなど、雨水放流による公共施設への影響を抑制し、また、準用河川の改修により雨水排水能力の向上と、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を推進します。

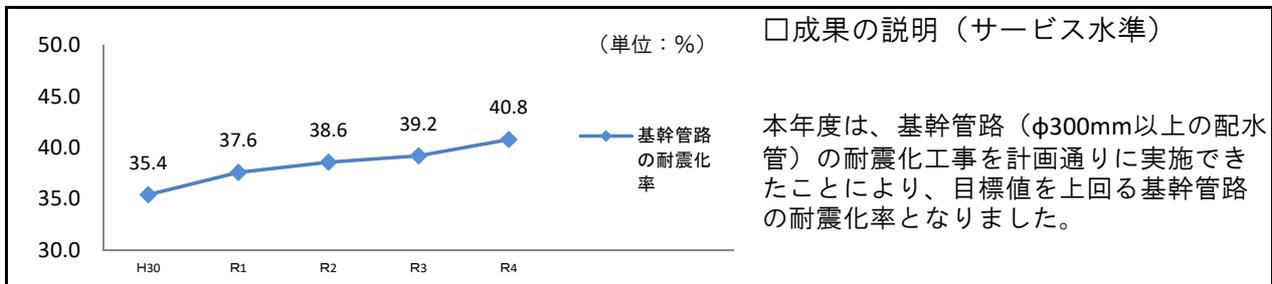
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

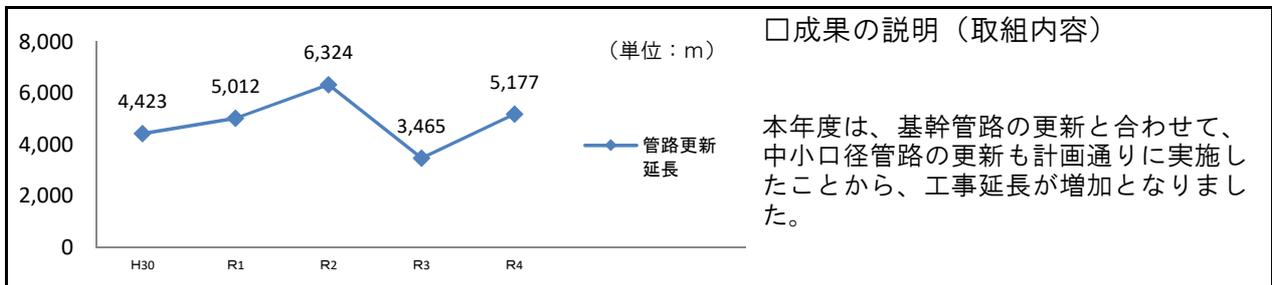
施策番号	6-5-1	実施計画No.	176	重点プロジェクトNo.	③-119	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	配水管更新事業					課名	工務課	
事業内容	耐震性に優れた強靱な水道管を布設します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	基幹管路の耐震化率				現状値 (平成29年度)	33.2%		
現状と課題	本市は、高度経済成長時代の急激な人口増加に合わせ水道管の拡張を進めました。今、それらの管路が一斉に老朽化による更新時期を迎えています。耐用年数を超過した水道管の更新に合わせて耐震性に優れた管種へ更新することにより、安定した水道水の供給を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	34.7%	36.2%	37.7%	39.2%	40.7%
成果指標の実績値	35.4%	37.6%	38.6%	39.2%	40.8%
達成率	102.0%	103.9%	102.4%	100.0%	100.2%
決算額(千円)	925,697	693,533	874,771	551,644	787,149

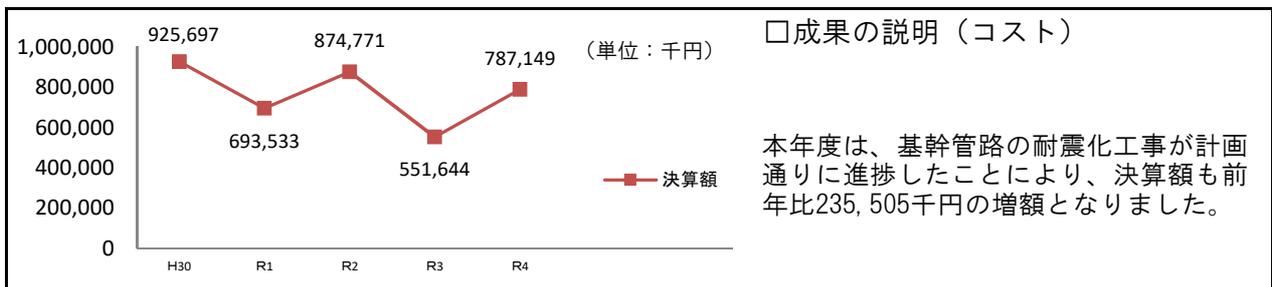
1 基幹管路の耐震化率



2 管路更新延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、基幹管路の耐震化工事が、目標値を上回る基幹管路耐震化率となり、「市民が安全で安定した水を利用できるようにすること」の実現に近づいたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	春日部市新水道ビジョンや耐震化計画に基づき、管路の耐震化を推進しており、引き続き、耐震化工事のスピードアップに取り組むなど「安全」「強靱」「持続」を柱とした水供給の実現を推進していきます。

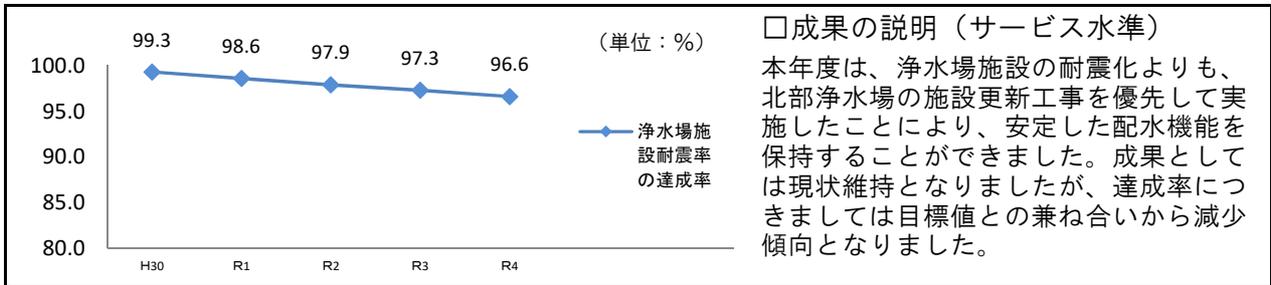
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

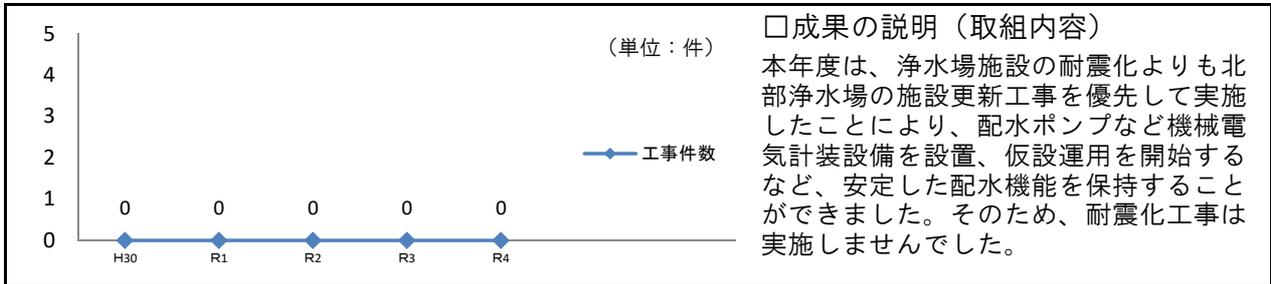
施策番号	6-5-1	実施計画No.	178	重点プロジェクトNo.	③-120	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	浄水場施設耐震化事業					課名	工務課	
事業内容	地震等の災害時における水道水を確保するため、浄水場施設や配水池などの耐震化を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	浄水場施設耐震率				現状値 (平成29年度)	85.3%		
現状と課題	浄水場施設は地震等の災害時においても安全で安定した水道水の供給が求められており、これまでの耐震化工事により、耐震化率85.3%となっています。一方、各浄水場の施設には、耐用年数を迎える機械電気計装設備が多く、安定した配水機能を保持するために、機械電気計装設備の更新が急務となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	85.9%	86.5%	87.1%	87.7%	88.3%
成果指標の実績値	85.3%	85.3%	85.3%	85.3%	85.3%
達成率	99.3%	98.6%	97.9%	97.3%	96.6%
決算額(千円)	0	0	0	0	0

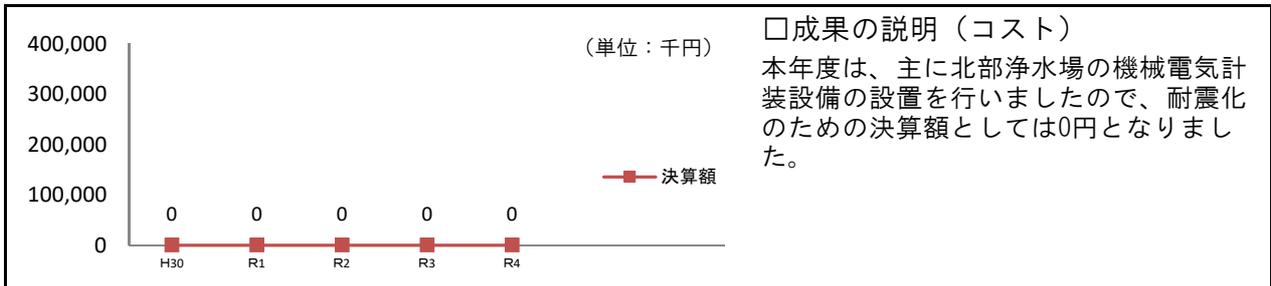
1 浄水場施設耐震率



2 工事件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、浄水場施設の耐震化よりも、北部浄水場の施設更新工事を優先して実施したことにより、安全で安定した水道水の供給を実施することができたと考えております。	
今後の方向性	現状維持	春日部市新水道ビジョンに基づき、東部浄水場No.1配水池の更新工事に向けた検討を進め、浄水場施設の耐震化率の向上を図っていきます。また、機械電気計装設備をはじめ、各浄水場の施設には耐用年数を迎えるものが数多くあることから、安定した配水機能を保持するため、適切な時期に更新工事を実施してまいります。

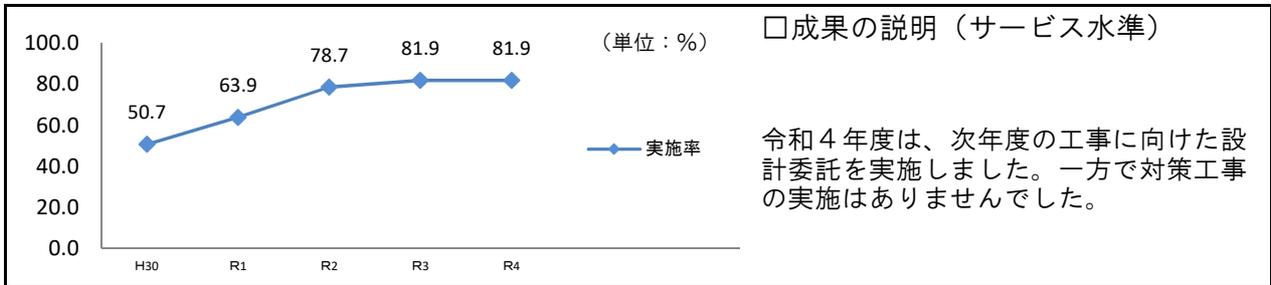
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

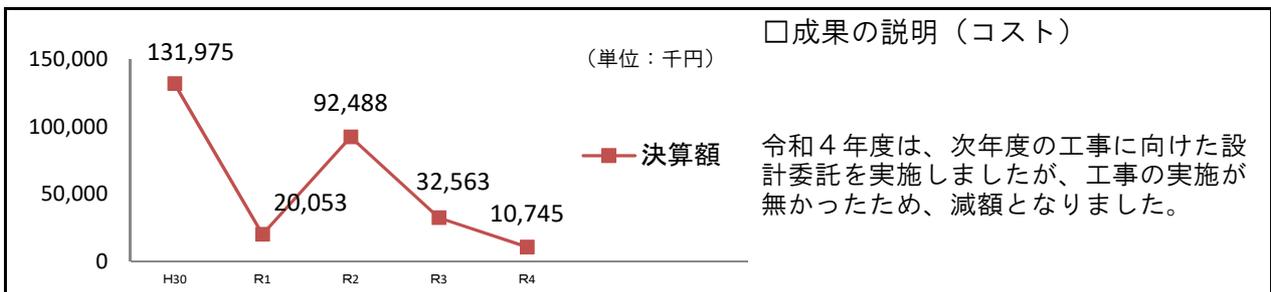
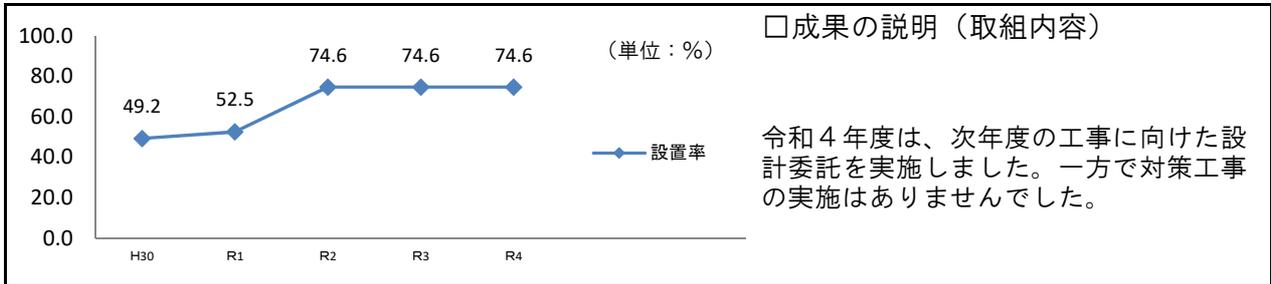
施策番号	6-5-2	実施計画No.	181	重点プロジェクトNo.	③-121	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	下水道施設地震対策事業					課名	下水道課	
事業内容	緊急輸送路における大規模地震時の被害を最小限にするため、液状化対策及び可とう性継手を設置していきます。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し 予定年度	令和2年度	
成果指標	液状化対策工事の実施率					現状値 (平成29年度)	24.4%	
現状と課題	大規模地震時の下水道施設の被害を最小限にするために、液状化対策と可とう性継手の設置を進めていく必要があります。令和4年度より市指定の緊急輸送道路下にある施設の地震対策を進めていきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.4%	62.4%	81.4%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	50.7%	63.9%	78.7%	81.9%	81.9%
達成率	116.8%	102.4%	96.7%	81.9%	81.9%
決算額(千円)	131,975	20,053	92,488	32,563	10,745

1 液状化対策工事の実施率の推移



2 可とう性継手の設置率の推移



令和4年度の評価	令和3年度に策定した春日部市総合地震対策計画に基づき、令和4年度は設計委託を実施したことで、地震対策を進めていく準備を整えることができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も計画に基づき、地震対策を進めていく必要があると考えています。令和4年度より市指定の緊急輸送道路の地震対策を進めていきます。

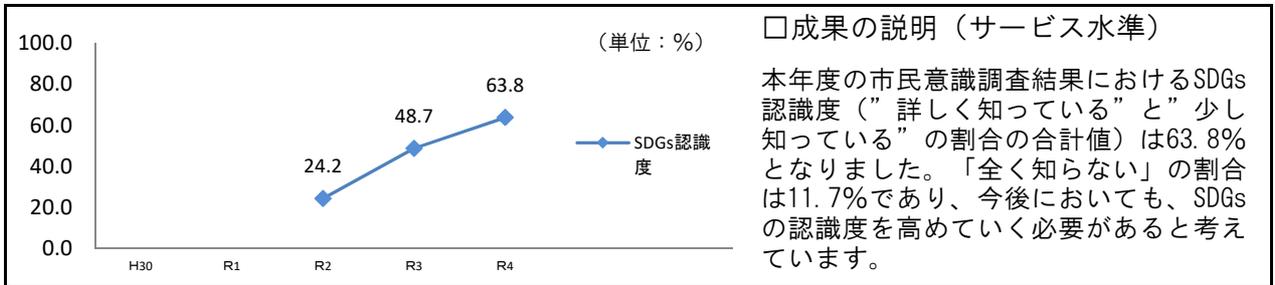
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

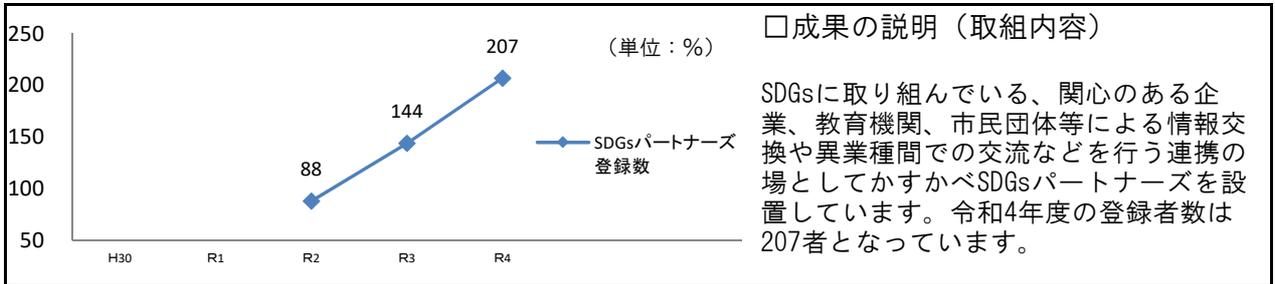
施策番号	7-1-1	実施計画No.	183	重点プロジェクトNo.	①-51 ②-83 ③-122	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	SDGs推進事業				課名	政策課	
事業内容	SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進するために、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組みます。				事業開始年度	令和2年度	
					事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	SDGsの市民認識度				現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	SDGsを推進していくためには、市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs認知度を高める必要があります、SDGsの機運醸成を図ることが課題となっています。						

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	25.0%	40.0%	50.0%
成果指標の実績値	-	-	24.2%	48.7%	63.8%
達成率	-	-	96.8%	121.8%	127.6%
決算額(千円)	-	-	1,510	4,233	1,570

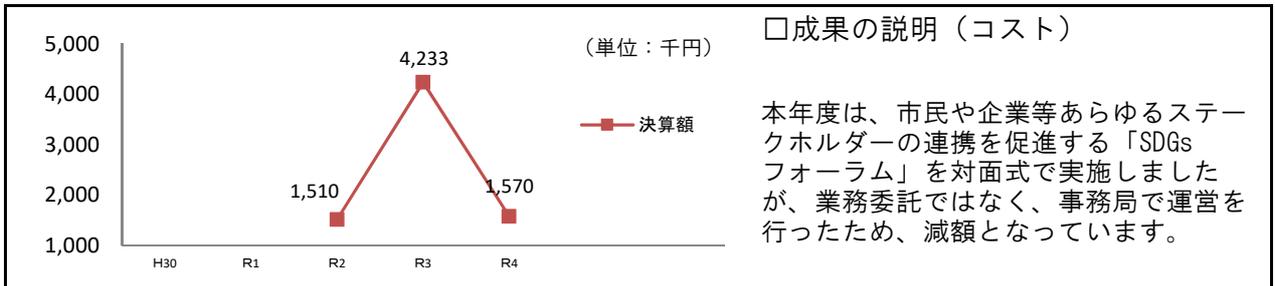
1 SDGs認知度



2 SDGsパートナーズ登録数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、SDGs理解促進に向けた職員研修の実施やステークホルダー（企業等）の連携に向けた「SDGsパートナーズミーティング」の実施、また、市民一人ひとりのSDGs理解を目的とした講座「SDGsカフェ」の実施、さらに、市民や企業等あらゆるステークホルダーの連携を促進する機会とする「SDGsフォーラム」の実施などを通じ、SDGs理解促進に努めてきました。今後もSDGsの認知度の向上や機運醸成を図る必要があると考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs機運醸成を図り、SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進してまいります。

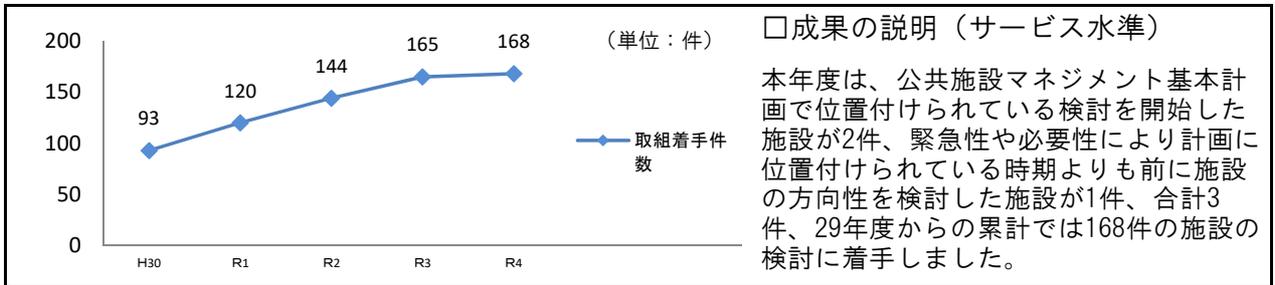
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

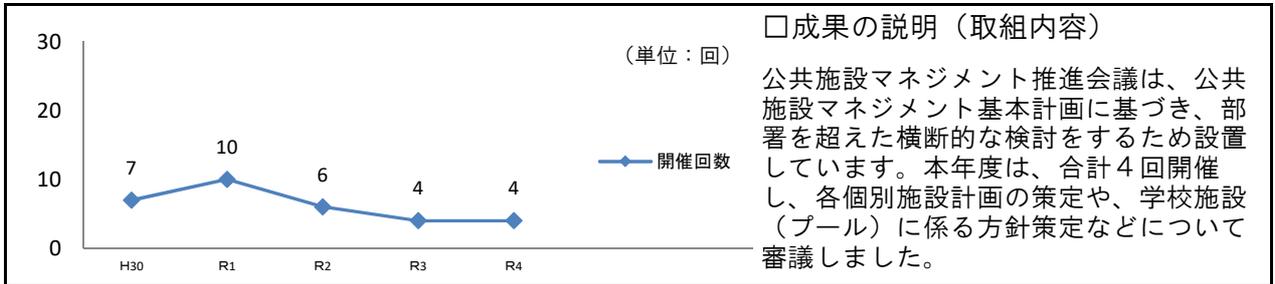
施策番号	7-1-1	実施計画No.	186	重点プロジェクトNo.	①-53	③-123	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	公共施設マネジメント推進事業					課名	公共施設事業調整課		
事業内容	2016年度（平成28年度）に策定した「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、計画的・戦略的な公共施設の再編・管理に取り組み、施設総量の適正化や公共施設に要する経費の縮減を図ります。					事業開始年度	平成29年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）					現状値 (平成29年度)	74件		
現状と課題	人口減少、少子高齢化の進行などにより財政状況が厳しさを増していくことが予想される一方で、公共施設の老朽化が進んでおり、今後、集中的に改修や更新時期を迎えます。そのため、今後の公共施設のあり方を検討し、施設再編などに取り組んでいく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	90件	101件	118件	140件	165件
成果指標の実績値	93件	120件	144件	165件	168件
達成率	103.3%	118.8%	122.0%	117.9%	101.8%
決算額(千円)	84	10,899	320	935	43

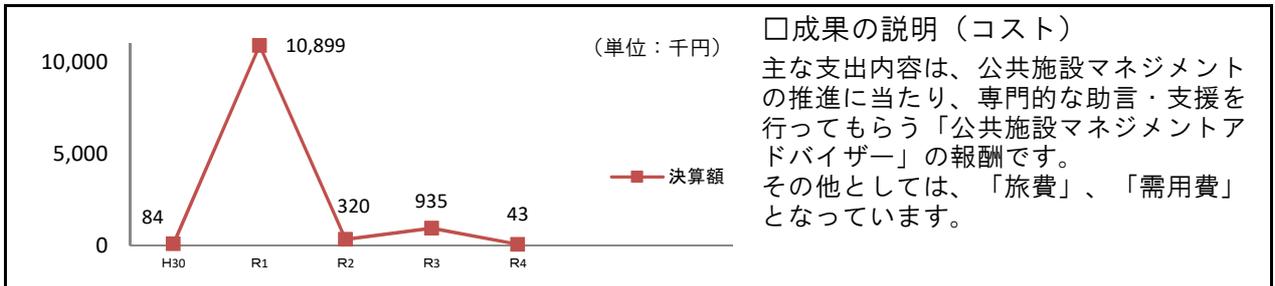
1 公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）



2 公共施設マネジメント推進会議の開催回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、「春日部市消防本部消防施設整備計画」、「春日部市学校プールの効率的利用に関する方針（案）」、「春日部市庄和市民センター正風館及び庄和高齢者憩いの家 個別施設計画」、「庄和保健センター事業の実施場所の変更及び庄和総合支所の執務室利活用」の各計画について審議しました。これにより方針が確定したことから、本市にとって有意義となる取り組みの推進が図れたものと考えます。		
今後の方向性	現状維持	「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら、施設所管部署と共に個別具体的な施設の方向性を検討し、施設再編などに取り組んでまいります。	

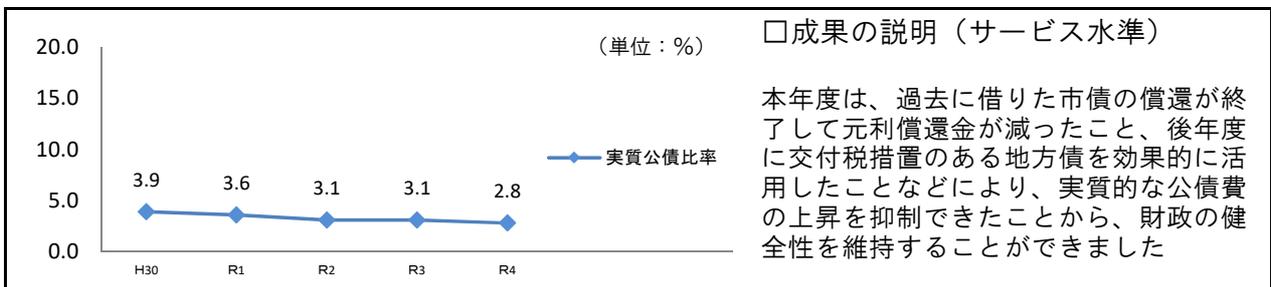
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

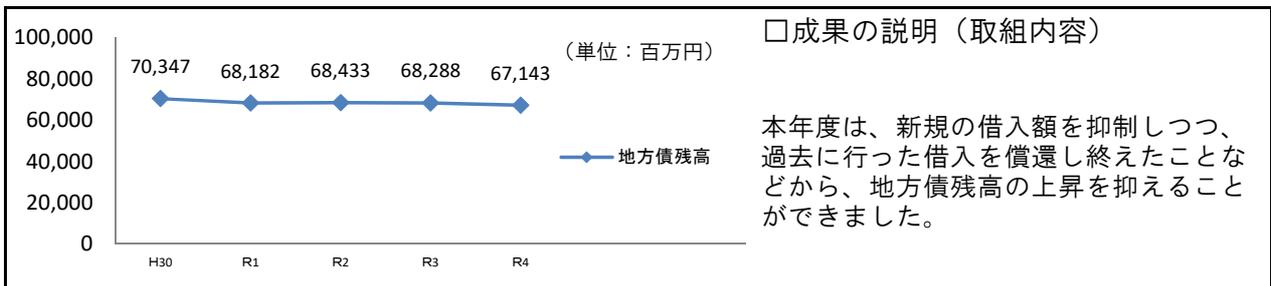
施策番号	7-2-1	実施計画No.	191	重点プロジェクトNo.	③-124	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	財政事務					課名	財政課	
事業内容	持続可能な財政運営への転換を一層推し進めるため、行財政改革と財政の健全化に取り組みます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	実質公債費比率（市の財政規模に対して市が1年間で支払った借入金返済額などの割合）				現状値 (平成29年度)	5.0%		
現状と課題	平成29年度の実質公債比率は5.0%と、目標値である10.5%未満となっており、健全な状態と言えます。今後は、過去3年以内に発行した市債の据え置き期間が満了していくことなどに伴い、償還金の増加が見込まれるため、引き続き計画的な財政運営が課題となっています							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%
成果指標の実績値	3.9%	3.6%	3.1%	3.1%	2.8%
達成率	269.2%	291.7%	338.7%	338.7%	375.0%
決算額(千円)	926	909	367	166	156

1 実質公債費比率の推移

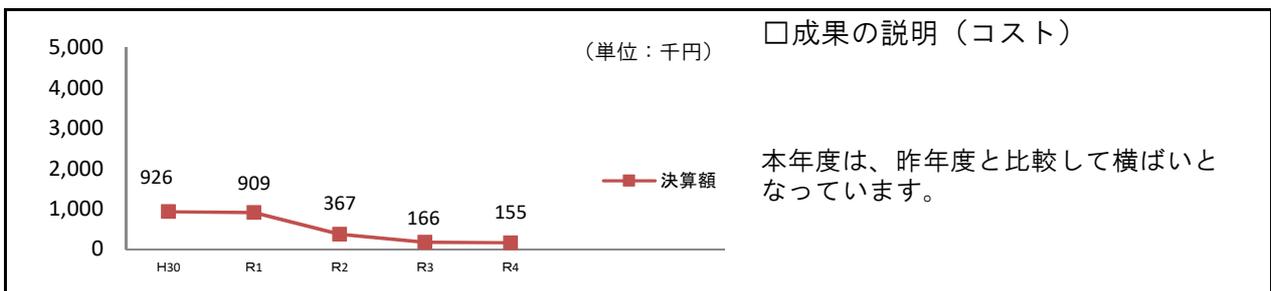


2 地方債残高の推移



※ 令和元年度から令和3年度の「地方債残高」については、錯誤のため修正しました。

3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、研修への参加や情報収集により効率的な財政運営に努めたことで、各種基金への積立と組み合わせながら新規借入額の抑制を行うことができ、今後予定されている大規模事業に備え、健全な財政を高い水準で維持できたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	近年の社会保障関連経費の増大に加え、本庁舎移転建替え、春日部駅付近連続立体交差事業など、大きな財源を要する事業等が開始されました。引き続き、市税の公平・公正な賦課徴収による歳入確保、行政需要を的確に把握した歳出管理による、持続可能な財政基盤の確立に取り組んでまいります。

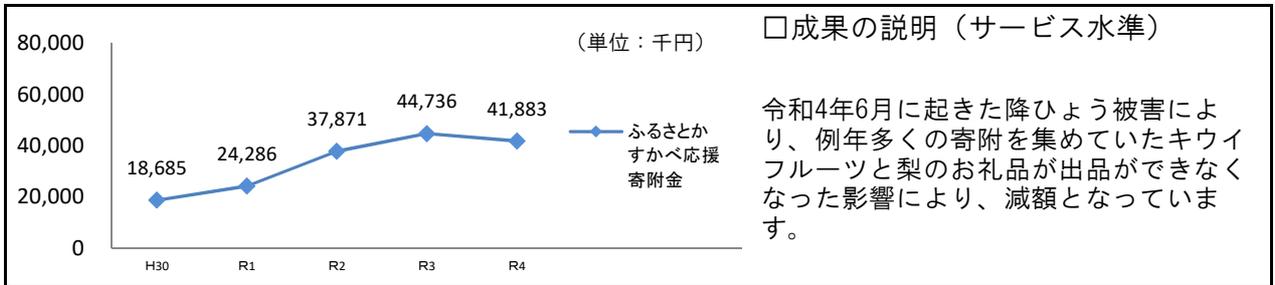
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

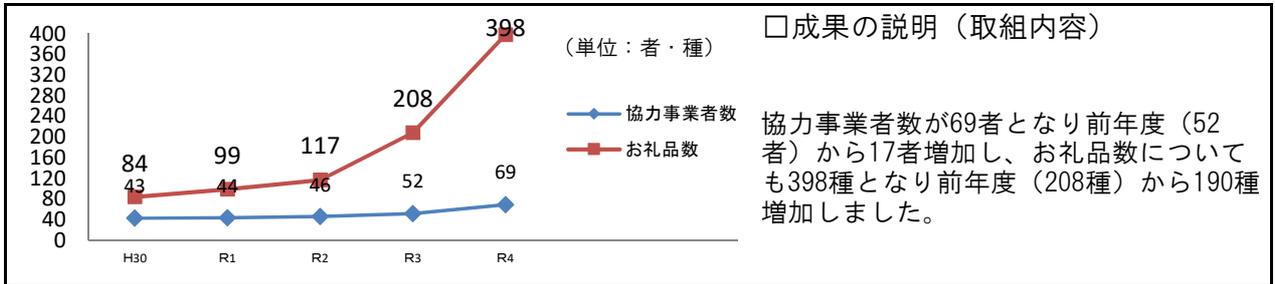
施策番号	7-2-1	実施計画No.	192	重点プロジェクトNo.	③-125	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ふるさとかすかべ応援寄附金推進事業					課名	シティセールス広報課	
事業内容	ふるさとかすかべ応援寄附金の寄附者に対し、寄附金額に応じた「お礼品」を贈呈します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	ふるさとかすかべ応援寄附金額					現状値 (平成30年度)	18,685 千円	
現状と課題	寄附金額は増額傾向にあり、今後においても事業者と協力しお礼品数の増加に努めることで、税外収入による財源確保の環境充実を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70,026 千円	20,000 千円	21,000 千円	22,000 千円	23,000 千円
成果指標の実績値	18,685 千円	24,286 千円	37,871 千円	44,736 千円	41,883 千円
達成率	26.7%	121.4%	180.3%	203.3%	182.1%
決算額(千円)	8,923	10,637	16,860	19,757	17,889

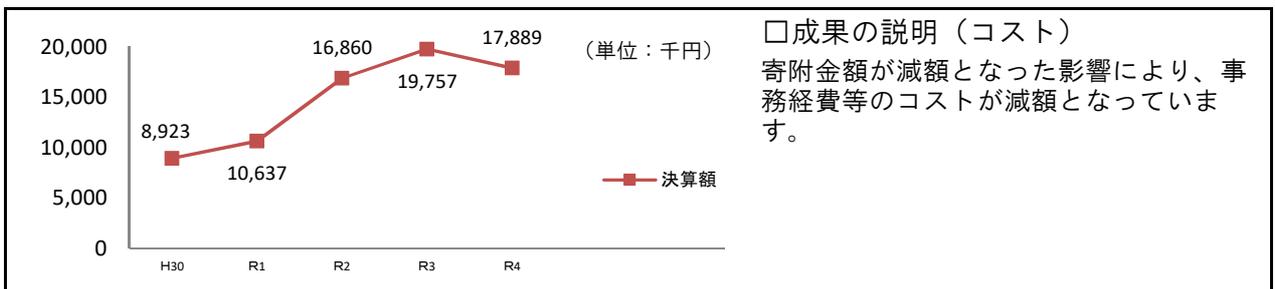
1 ふるさとかすかべ応援寄附金の推移



2 協力事業者数及びお礼品数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	ふるさと納税ポータルサイトの拡充やお礼品協力事業者の増加に伴うお礼品数の増加により、寄附受付環境の充実を図りました。しかし、例年寄附額の多いキウイフルーツや梨のお礼品が、降ひょう被害により出品できなくなった影響により、寄附金額が昨年度よりも減少となりました。降ひょう被害クラウドファンディングの実施により目標寄附額を上回る寄附をいただき、農家の支援を図ることができました。	
今後の方向性	拡充	今後、更なる寄附金額の増額を見込み、財源確保の環境充実を図るため、市内事業者を対象とした説明会の開催などにより、新規の協力事業者やお礼品の新規開拓を行うとともに、広告の効果的な運用により寄附金額の増加を図ります。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討